

# 少年審判通訳ハンドブック

【ポルトガル語】

(改訂版)

最高裁判所事務総局

## はじめに

少年審判において少年や保護者などが日本語を理解できない者である場合には、適正な調査や審判を実現するために、通訳が正しく行われることが必要です。しかし、調査や審判でのやり取りを正確に通訳することは、熟練した通訳人でも難しいものと思われまゝ。まして、法律を学んだことのない方が初めて少年審判の通訳をする場合は、戸惑うことが多いと思います。そのような場合、あらかじめ、調査や審判などでよく使われる定型的表現や用語についての通訳例を承知しておくとともに、少年審判がどのような目的で、どのような手続に従って行われるのかということについて正しい予備知識を持っておくことは、適切な通訳を行うために大切なことであると思われまゝ。

このハンドブックは、少年審判の通訳をすることになった方のために、通訳人として心得ておいていただきたいと思われること、知っていること役に立つと思われることをまとめ、通訳をする際の参考としていただくために作成したもので、少年審判の概要を説明した部分、通訳に当たっての注意事項を取りまとめた部分、調査や審判などでよく使われる定型的表現の対訳部分、さらに用語の対訳部分の4編からなっています。

このハンドブックが広く少年審判の通訳に当たる方の執務の参考になれば幸いです。

平成28年3月

最高裁判所事務総局家庭局

# 目 次

## 第1編 少年審判の概要

第1 少年審判の意義と基本原理	1
1 少年審判の意義	1
2 少年審判の基本原則	1
(1) 教育主義（保護主義）	1
(2) 個別処遇の原則（処遇の個別化）	2
(3) 職権主義	3
第2 少年審判手続の流れ	3
1 事件の受理	3
(1) 対象事件	3
ア 少年保護事件	3
(ア) 犯罪少年	3
(イ) 触法少年	3
(ウ) ぐ犯少年	3
イ 強制的措置許可申請事件	4
ウ 準少年保護事件	4
(2) 事件受理の態様	4
2 観護措置	4
(1) 意義	4
(2) 手続	5
ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓	5
イ 家庭裁判所調査官による面接	5
ウ 裁判官による観護措置決定手続	5
(ア) 少年の氏名などの確認	5
(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知	6

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取	6
(エ) 決定の告知	6
(オ) ウィーン条約の説明	6
(3) 期間など	6
3 調査	7
(1) 裁判官による法的調査	7
(2) 家庭裁判所調査官による社会調査	7
4 審判	8
(1) 審判の開始	8
(2) 審判の場所，関与者など	8
(3) 手続	9
ア 審判開始の宣言	9
イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓	9
ウ 少年の氏名などの確認	9
エ 黙秘権の告知	9
オ 非行事実の審理	9
カ 要保護性の審理	10
キ 決定の告知	10
(ア) 保護処分	10
a 保護観察	10
b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致	10
c 少年院送致	11
(イ) 不処分	11
(ウ) 知事又は児童相談所長送致	11
(エ) 検察官送致	11
(オ) 試験観察	12

	(カ) 没取	12
	(キ) 訴訟費用の負担	13
	ク 保護処分の趣旨の説明	13
	ケ 抗告権の告知	13
	コ ウィーン条約の説明	13
5	検察官及び弁護士である付添人が関与した審理	13
6	被害者等の傍聴	14
第2編	通訳に当たっての注意事項	15
第1	一般的注意事項	15
第2	具体的注意事項	17
1	観護措置決定手続段階	17
2	調査段階	17
3	審判段階	18
第3編	定型文言の対訳	20
第1	観護措置決定手続	20
1	家庭裁判所調査官による面接	20
2	前置き	20
3	少年の氏名などの確認	22
4	黙秘権の告知	22
5	付添人選任権の告知	22
6	非行事実の告知	22
7	少年の弁解の聴取	24
8	観護措置をとらない場合	24
9	観護措置をとる場合（決定の告知等）	24
10	少年鑑別所収容の通知の説明	24
11	ウィーン条約の説明	24

第2	調査手続	26
1	前置き	26
2	少年の氏名などの確認	26
3	手続の説明	26
4	審判の説明	28
5	処分の説明	28
第3	審判手続	30
1	審判開始の宣言	30
2	少年の氏名などの確認	30
3	黙秘権の告知	30
4	被害者等の傍聴がある場合の説明	32
5	非行事実の告知	32
6	少年の弁解の聴取	32
7	証人尋問手続	32
8	聴取の終了	34
9	調査官の意見陳述	34
10	付添人の意見陳述	34
11	決定などの告知及びその説明	34
12	抗告権の告知（保護処分に付された場合）	34
13	ウィーン条約の説明 （少年院送致や少年院への戻し収容の場合）	34
第4	非行事実の告知	36
1	窃盗罪（万引）の例	36
2	窃盗罪（バイク盗）の例	36
3	遺失物等横領罪の例	36
4	傷害罪の例	36

5	強盗罪の例	38
6	殺人罪の例（その1）	38
7	殺人罪の例（その2）	38
8	覚せい剤取締法違反の例	38
9	毒物及び劇物取締法違反の例	40
10	過失運転致傷罪の例	40
11	道路交通法違反（無免許運転）の例	40
12	道路交通法違反（速度違反）の例	40
13	売春防止法違反の例	40
14	出入国管理及び難民認定法違反の例	42
15	ぐ犯の例	42
第5	決定などの告知及びその説明	42
1	保護観察決定などの告知及びその説明	42
	(1) 保護観察決定の告知及びその説明	42
	(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明	44
2	児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知 及びその説明	44
3	少年院送致決定などの告知及びその説明	44
	(1) 少年院送致決定の告知及びその説明	44
	(2) 処遇勧告の告知及びその説明	44
	ア 短期間の処遇勧告の説明	44
	イ 特別短期間の処遇勧告の説明	44
4	不処分決定の告知	44
5	知事又は児童相談所長への送致決定の告知	46
6	検察官送致決定の告知	46
7	強制的措置許可決定の告知	46

8	強制的措置不許可決定の告知	46
9	試験観察決定などの告知及びその説明	46
10	没取決定の告知	46
11	訴訟費用負担決定の告知	46
12	戻し収容決定の告知	48
13	収容継続決定の告知	48
14	保護処分 of 取消決定の告知	48
15	施設送致決定の告知	48
第6	書式例	50
書式1	少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）	50
書式2	少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）	52
書式3	審判期日通知書	54
書式4	呼出状	56
書式5	呼出状（調査）	58
書式6	同行状（緊急）	60
書式7	観護措置通知書	62
書式8	付添人選任届	64
書式9	付添人選任に関する通知及び照会	66
書式10	付添人選任に関する回答書	68
書式11	決定通知書（審判不開始決定）	70
書式12	証人召喚状	72
書式13	証人等整理票	74
書式14	宣誓書	76
書式15	通報の要請に関する照会	78
第4編	用語の対訳	80
第1	法律関係用語	80



第2	調査関係用語	94
第3	官庁等諸機関名	97
第4	法令名	101
第5	罪名	107
	少年保護事件の手続の流れ	111

## 第1編 少年審判の概要

### 第1 少年審判の意義と基本原理

#### 1 少年審判の意義

一般に、少年は人格が未熟である半面、教育などにより改善される可能性が高いので、非行のある少年に対しては、責任を追及して刑罰による非難を加えるのではなく、非行の背景を探り、少年に保護、教育を行うことが、少年の健全な育成に役立つと考えられます。そこで、少年法（以下「法」といいます。）1条に掲げられている「少年の健全な育成」を図るため、非行のある少年の事件は、全て家庭裁判所に送らせ（これを「全件送致主義」といいます。）、家庭裁判所で少年の個別的な問題性を調査した上、個々の少年に応じた教育的な措置を行うこととされています。家庭裁判所における少年事件の審理は、刑事訴訟手続のように公開の法廷で検察官と被告人及び弁護人双方の主張につき裁判官が第三者的立場から判断をするのではなく、非公開の審判廷で、裁判官が、職権により、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人などの関係者の意見を聴いた上、少年の後見的役割も果たしつつ、少年の将来を考えて処分を決める構造となっています。一定の場合には、検察官も審判に出席しますが、この場合の検察官も家庭裁判所の審判の協力者として出席します。このように、少年の健全な育成を図る目的の下に家庭裁判所が行う、少年事件の受理から最終的な決定に至るまでの一連の手続を、少年審判といいます。

#### 2 少年審判の基本原則

##### (1) 教育主義（保護主義）

少年審判は、非行のある少年について、できるだけ処罰でなく、教育的な手段によって非行性を矯正し、更生を図ることを目的としており、刑罰は、このような教育的な手段によって矯正することができないか、それが不適當な場合に限って科せられることになっています。これは、少年は、精神的に未熟、不

安定で、環境の影響を受けやすく、非行に至った場合にも必ずしも犯罪性が進んでいない者が多いので、これを成人と同視して、その責任を追及することは適当でないという考えと、少年は、たとえ罪を犯した場合にも人格の発達途上にあるものとして、成人に比べなお豊かな教育的可能性（可塑性）を有しており、指導や教育によって更生させることが期待できるにもかかわらず、教育によらずに刑罰という制裁を科すことは、本人の将来のためにならないばかりでなく、社会にとっても決して得策ではないという考えに基づいています。

このような考え方を教育主義といいます。教育主義は、全ての少年事件を家庭裁判所に送らせ（全件送致主義）、家庭裁判所において、必要な調査を行った上で少年の処分を決める仕組みになっていることにも表れています。

## (2) 個別処遇の原理（処遇の個別化）

少年の非行の原因は様々であり、性格、環境などの問題点も多岐にわたりますから、これに対処して少年の非行性を取り除き、その更生を図るには、少年の個別的な問題性に応じた処遇を行うことが必要になります。このため、家庭裁判所においては、心理学、教育学、社会学などの行動科学の知見を活用した専門的な調査について訓練を受けている家庭裁判所調査官が、非行が起こったメカニズムを分析し、再非行を防ぐための手立てを検討するために、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などについて調べます（社会調査）。さらに、必要な少年に対しては、少年鑑別所において鑑別が行われることもあります。

また、個別的な処遇方法としては、保護処分として、保護観察、児童自立支援施設又は児童養護施設送致、少年院送致があり、保護観察と少年院送致については、運用上様々な処遇が用意されているほか、試験観察などの中間的な措置や家庭裁判所調査官による教育的な働き掛け（保護的措置）などがあります。刑事裁判の場合と異なり、少年の個別的な問題性に応じた処遇を選択することができるようになっています。

### (3) 職権主義

刑事裁判では、被告人と検察官の対立する当事者がお互いに攻撃や防御を行い、裁判所が第三者的立場から判断を下すという当事者主義的な構造がとられていますが、少年審判では、これと異なり、家庭裁判所が、少年の健全な育成を図るため、自ら少年に関する広範な調査を行い、審問を行う職権主義的な構造がとられています。

少年審判に関与する者は、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人、検察官、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員、学校の教師など多数にわたりますが、いずれも少年の健全な育成という目的の下に協力的な立場に関与するものとされています。

## 第2 少年審判手続の流れ

### 1 事件の受理

#### (1) 対象事件

##### ア 少年保護事件

これは、家庭裁判所に送られてきた少年を保護処分に付すかどうかを判断する事件で、家庭裁判所が取り扱う少年に関する事件の中の主なものです。その対象となる少年は、次の3種類があります。

##### (ア) 犯罪少年

1 4歳以上20歳未満の罪を犯した少年（法3条1項1号）

##### (イ) 触法少年

刑罰の定めのある法令に触れる行為をしたが、行為の時14歳未満であったため、刑法上罪を犯したことにならない少年（法3条1項2号）

##### (ウ) ぐ犯少年

20歳未満で、保護者の正当な監督に服しないとか、正当な理由がないのに家庭に寄り付かないとか、あるいはいかがわしい場所に出入りするといった一定の行状があり、その性格や環境から見て将来罪を犯す又

は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年（法3条1項3号）

#### イ 強制的措置許可申請事件

これは、児童相談所等で取り扱っている児童について、適切な保護を行うため、児童の行動の自由を制限し、又はその自由を奪うような強制的な措置を必要とするときに、児童相談所等がそのような措置をとることの許可を求めて家庭裁判所にその児童を送致する事件です（法6条の7第2項）。

#### ウ 準少年保護事件

保護処分取消事件（法27条の2）、収容継続申請事件（少年院法138条、139条）、戻し収容申請事件（更生保護法71条、72条）及び施設送致申請事件（更生保護法67条2項、法26条の4）を準少年保護事件といい、これらの事件の手続は、性質に反しない限り少年保護事件のそれと同様です（法27条の2第6項、少年院法138条5項、139条3項、法26条の4第3項）。

### (2) 事件受理の態様

家庭裁判所が少年保護事件を受理する方法としては、警察(司法警察員)からの送致(法41条)、検察官からの送致(法42条)のほか、知事又は児童相談所長からの送致(児童福祉法27条1項4号、法3条2項)。家庭裁判所調査官からの報告(法7条1項)、一般人からの通告(法6条1項)があります。また、強制的措置許可申請事件は、知事又は児童相談所長から送致されます(法6条の7第2項、児童福祉法27条の3)。

刑事事件における裁判所への事件の係属は、原則として検察官による公訴の提起に限られています(刑事訴訟法247条)が、少年事件の場合には、一般人を含めて、少年の健全な育成に関心を持つ者からの通告などによっても、事件を家庭裁判所に係属させる制度をとっているのが特徴です。

## 2 観護措置

### (1) 意義

観護措置とは、家庭裁判所が調査や審判をするために、少年の心情の安定を図りながら、少年の身柄を確保しておく措置をいいます。これには、少年を家庭などに置いたまま、家庭裁判所調査官が随時連絡を取って少年を観護するもの（法17条1項1号）と、少年を少年鑑別所に収容するもの（法17条1項2号）の2種類がありますが、前者はほとんど利用されておらず、通常、観護措置というときは後者を指します。

後者の観護措置では、少年を少年鑑別所に収容することによりその身柄を確保するとともに、少年の行動を観察しながら鑑別を行います。そして、鑑別の結果は家庭裁判所に報告され、調査や審判の資料とされます。以下では、後者の観護措置を前提として、説明します。

## (2) 手続

### ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓

家庭裁判所調査官による面接（後記イ）や裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前提として、まず、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、調査や審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

### イ 家庭裁判所調査官による面接

裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前に、家庭裁判所調査官が短時間少年に面接し、観護措置の要否について家庭裁判所調査官の立場からの意見を裁判官に提出する場合があります。家庭裁判所調査官による面接では、少年の氏名や生年月日、国籍、非行事実などの確認が行われるほか、少年審判手続についての一般的な説明も行われます。

### ウ 裁判官による観護措置決定手続

#### (ア) 少年の氏名などの確認

裁判官は、直接少年に会った上で、少年に対し、少年の氏名、生年月

日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権及び付添人選任権を告げます。少年は裁判官の質問に対し、無理に答える必要はありません。また、少年事件において家庭裁判所の審判の協力者としての役割とともに、刑事事件の弁護人のような役割を果たす人を付添人といいますが、少年に付添人を選任できる権利（法10条）があることも分かりやすく説明します。

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の弁解を聴きます。

(エ) 決定の告知

裁判官は、少年に対し、観護措置をとる場合にはその旨の決定を告げ、観護措置をとらない場合にはその旨を告げます。

(オ) ウィーン条約の説明

裁判官が外国籍の少年について観護措置をとる旨の決定をした場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限ります。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

(3) 期間など

少年を少年鑑別所に収容することができる期間は、原則として2週間ですが、特に継続の必要があるときは、更新することができます（法17条3項）。更新は原則として1回を超えて行うことはできませんが、例外的に、更に2回を

限度として行うことができます（法17条4項）。したがって、少年を少年鑑別所に収容しておくことのできる期間は、最長8週間ということになります。

通常は、少年鑑別所において行う少年の行動観察や鑑別のために相当の期間を要するため、4週間近く収容されることが多いのが実情です。また、観護措置は、その必要がなくなったときは、いつでも取り消すことができます（法17条8項）。

### 3 調査

#### (1) 裁判官による法的調査

家庭裁判所が事件を受理すると、裁判官は、まず捜査機関から送られてきた記録を検討して、少年に本当に非行があるのかどうかを調査します（法的調査）が、記録を検討した結果、少年に非行があるとの蓋然的心証を得た場合には、家庭裁判所調査官に対し、少年の要保護性についての調査（社会調査）を命じます。しかし、少年が捜査段階で非行事実を否認している場合や、証拠関係に不明な点があって、非行事実の認定に問題があると裁判官が考えた場合には、家庭裁判所調査官に調査を命じる前に、審判を開き、その点について直接少年の弁解を聴き、証人などを調べる場合もあります。

#### (2) 家庭裁判所調査官による社会調査

家庭裁判所調査官は、裁判官から調査を命じられると、行動科学等の専門的知識を活用して、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などを調べ（社会調査）、非行の背景やメカニズムを分析するという役割を担っています。社会調査は、少年が非行を繰り返す傾向の強さ、その傾向を取り除くことのできる可能性、そして保護処分という手段で矯正することのできる可能性といった要素（要保護性といいます。）を検討するために行われます。。社会調査は、家庭裁判所調査官が主に少年や保護者などと面接して行われ、少年鑑別所に収容されている少年に対しては、少年鑑別所に出向いて行われます。少年との面接の際には、家庭裁判所調査官が、少年の氏名、生年月日、国籍や



非行事実などを確認するほか、少年の生育歴、入国の経緯、日本での生活状況、非行の経緯や背景などを聴きますが、一般的な手続の説明なども行います。

また、家庭裁判所調査官が少年の家に出向いて家庭などの状況を見てくるとや学校などに照会することもあります。調査に当たっては、少年の情操や名誉を傷つけないように、また、関係者の秘密が守られるように、十分な注意が払われています。

家庭裁判所調査官は、調査結果と少年が立ち直るために必要な処遇に関する意見を少年調査票という書面にまとめ、裁判官に報告します。

#### 4 審判

##### (1) 審判の開始

裁判官は、家庭裁判所調査官の調査結果などを検討した上で、審判を開く必要があるかどうかを決めます。少年が事実を認めており、かつ、事案が軽微であり、調査の過程における家庭裁判所調査官からの教育的な働き掛けなどにより十分な手当てがされているなどの理由から、審判を開いて指導を行う必要がないと判断した場合には、審判不開始決定をして裁判官が少年に直接働き掛けを行うことなく手続を終了させます。少年が事実を否認している場合や保護処分（保護観察、少年院送致等）などの手当てをする必要があると判断した場合には、審判開始決定をして審判を開きます。

なお、少年が逮捕、勾留などにより身柄が拘束されたまま家庭裁判所に送致されて観護措置がとられたような場合には、調査命令を発する際に併せて審判開始決定をするのが一般です。

##### (2) 審判の場所、関与者など

審判は、原則として家庭裁判所の審判廷で行われ、非公開の場で、懇切を旨として、和やかに行うとともに、少年に対し、自己の非行について内省を促すものとされ（法22条1項）、少年の情操の保護が図られています。

審判には、裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、少年及び少年の保護

者が出席し、場合によっては、付添人、検察官、学校の教師、雇い主、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員などが出席することもあります。また、一定の重大な事件では、被害者等が審判を傍聴することもあります。

なお、裁判官については、1人の場合と3人の場合があります。重大事件などについては3人の合議体で審判が行われ、そのうちの1人が裁判長として手続を進めます。以下では裁判官が1人の場合について記述しますが、3人の合議体で審判が行われた場合にも、基本的に同じです。

### (3) 手続

#### ア 審判開始の宣言

審判を開始するに当たっては、まず、裁判官が審判の開始を宣言します。

#### イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓

通訳人の氏名などの確認や宣誓が審判の前に行われていないときには、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。

通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

#### ウ 少年の氏名などの確認

裁判官は、少年に対し、少年の氏名、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

#### エ 黙秘権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権を告げます。

#### オ 非行事実の審理

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の言い分を聴き、その上で捜査機関から送られてきた少年に不利な証拠の内容を告げて、これについて言い分を述べる機会を与えます。必要な場合には、証人尋問などの証拠調べも行われます。審判の進め方や証拠調べの範囲、方法などについては、裁

判官の裁量に委ねられていますが、この裁量も無制限ではなく、合理的なものでなければならないとされています。また、保護処分の決定を行うには、非行事実の存在について、間違いがないとの確信（合理的な疑いを超える確信）が必要とされています。

#### カ 要保護性の審理

裁判官は、非行事実の審理の結果、非行事実の存在について確信した場合には、続いて、少年の要保護性についての審理を行います。裁判官は、主として家庭裁判所調査官の作成した少年調査票や少年鑑別所の鑑別結果報告書の内容を踏まえて、少年や保護者に対し、非行の動機・原因のほか、少年自身の生い立ち、少年の家族関係、学校、職場などの環境などについて、そのポイントとなる点を確認し、あるいは自発的な発言を促してその言い分を十分に聴きます。また、その他の関係者から必要に応じて意見を述べてもらうこともあります。

#### キ 決定の告知

裁判官は、調査や審判の結果に基づいて、少年の非行事実及び要保護性を総合的に検討し、個々の少年の健全な育成のために最もふさわしい処分を決定し、少年にそれを告げます。

裁判官が審判で行う処分としては、次のようなものがあります。

##### (ア) 保護処分

###### a 保護観察

少年を家庭や職場に置いたまま、保護観察官や保護司が少年に対して指導監督と補導援護を行い、少年の改善更生を図るものです（法24条1項1号）。

###### b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致

児童自立支援施設や児童養護施設という児童福祉施設に少年を送って教育や養護を行うものです（法24条1項2号）。

c 少年院送致

少年を少年院という特別の矯正教育施設に収容して、少年が健全なものの考え方や規則正しい生活習慣を身に付けることができるように指導するものです（法24条1項3号）。少年院には、第1種から第4種までの4種類がありますが、家庭裁判所が少年を送致するのはこのうち第1種から第3種までの少年院です。少年を送致する少年院の種類は、決定において定められます。また、家庭裁判所は、第1種少年院に少年を送致する場合には、短期間（6か月）又は特別短期間（4か月）で処遇を終えることが適当である旨の処遇勧告を付すことができ、その場合には、少年院長は家庭裁判所の処遇勧告をそのまま受け入れる運用が行われています。

(イ) 不処分

審判の結果、非行事実が認められない場合や、非行事実が認められても、特に保護処分に付すまでの必要はないと認められた場合に行われるもので、少年を保護処分に付さないことを宣言するものです（法23条2項）。

(ウ) 知事又は児童相談所長送致

少年を児童福祉施設に入所させたり、少年に児童福祉司や児童委員による指導を受けさせたりするなど、児童相談所の措置に委ねることが適当であると認められた場合に行われるものです（法23条1項、18条1項）。

(エ) 検察官送致

死刑、懲役又は禁錮に当たる罪の事件について、調査をした上、その事件の重大性や犯情、さらには、少年の犯罪的危険性、非行歴などから判断して、刑罰を科すのが相当と認められるときに、事件を検察官に送致するものです。また、殺人や傷害致死など故意の犯罪行為によって被

害者を死亡させた罪の事件であって、犯行時に16歳以上の少年に係るものについては、原則として事件を検察官に送致することとされています（法23条1項、20条）。

送致を受けた検察官は、犯罪の嫌疑がある限り、原則として、刑事裁判所に公訴を提起（起訴）しなければならないとされています（法45条5号）。

なお、このほかに、本人が20歳以上であることが判明したときにも、事件を検察官に送致する決定が行われます（法23条3項、19条2項）。

観護措置がとられている事件について、検察官送致の決定をするときは、あらかじめ、本人に対し、罪となるべき事実や弁護人を選任することができる旨などが告げられます。さらに、死刑又は無期若しくは長期3年を超える懲役若しくは禁錮に当たる事件については、本人に対し、貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨などが告げられます（少年審判規則24条の2）。

#### (オ) 試験観察

試験観察とは、家庭裁判所が直ちに保護処分を選択するかどうかの最終決定を行いにくい場合に、(ア)から(エ)までのような最終的な決定を留保したまま、少年の非行性や更生可能性を見定めるために、相当の期間、少年を家庭裁判所調査官の観察に付すという中間的な決定です。その際には、併せて、遵守事項を定めてその履行を命じたり、適当な施設や個人などに少年の補導を委託したり（これを「補導委託」といいます。）するなどして、少年の行動を観察することもあります（法25条）。

#### (カ) 没取

没取とは、犯罪少年や触法少年について、審判不開始決定や（ア）から（ウ）までの決定等をするに当たり、犯罪に利用した凶器など一定の物の所有権を少年から剥奪し、国庫に帰属させるために行われる処分です（法24条の2）。

（キ） 訴訟費用の負担

家庭裁判所へ送致される前に少年に国選弁護人が付された事件について、不処分又は保護処分の決定がされた場合には、家庭裁判所は、少年に対し、その国選弁護費用（訴訟費用）を負担させることができます（法45条の3、刑事訴訟法181条1項）。

ク 保護処分の趣旨の説明

裁判官は、保護処分の決定を告げる場合には、少年及び保護者に対し、保護処分の趣旨を懇切に説明し、これを十分に理解させます（少年審判規則35条1項）。

ケ 抗告権の告知

裁判官は、保護処分の決定を告げた場合には、少年及び保護者に対し、決定に不服があるときは2週間以内に抗告申立書を裁判所に差し出して抗告をすることができる旨を告げます（少年審判規則35条2項）。

コ ウィーン条約の説明

裁判官が少年院送致や少年院への戻し収容の決定を告げた場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の本国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限りです。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

5 検察官及び弁護士である付添人が関与した審理

検察官は、原則として少年審判に関与しませんが、家庭裁判所は一定の罪の事

件で、その事実認定手続に検察官が関与する必要があると認めるときは、審判に検察官を出席させることができます（法 22 条の 2）。この場合に、家庭裁判所は、少年に弁護士である付添人がないときは、弁護士である付添人を付すこととされています（法 22 条の 3 第 1 項）。

また、検察官が関与しない場合でも観護措置がとられている一定の罪の事件に係る犯罪少年や触法少年の審判において、事案の内容、保護者の有無その他の事情を考慮し、必要があると認めるときは、弁護士である付添人を付することができることとされています（法 22 条の 3 第 2 項）。

このようにして検察官や弁護士である付添人が出席した審判においては、検察官や付添人から証拠調べの申出がされたり、少年や証人などに対して質問がされたりします。ただし、刑事裁判と異なり、検察官や付添人は家庭裁判所の審判の協力者として関与します。

## 6 被害者等の傍聴

少年審判は原則として非公開ですが、犯罪少年又は触法少年が起こした一定の重大な事件の被害者等は、裁判所の許可を受けて少年審判を傍聴することができます。被害者等から傍聴の申出があった場合には、裁判所は、少年の年齢及び心身の状態、事件の性質、審判の状況その他の事情を考慮し、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認めるときに限り、傍聴を許すことができます（法 22 条の 4）。

## 第2編 通訳に当たっての注意事項

第1編で少年審判の概要をおおむね御理解いただけたことと思います。通訳人の皆さんは、この少年審判の中で、言葉の通じない外国人の少年や保護者などと少年審判に関与する他の人とのいわばパイプ役を果たしていただくこととなります。少年審判においては、まず、少年に調査や審判などで何が行われているかを十分に理解させる必要があります。そして、裁判官や家庭裁判所調査官と少年などとの意思の疎通を十分に行いながら審理を進めていかなければなりません。そのためには正確な通訳が必要です。

本編では、通訳人の皆さんに心得ておいていただきたい注意事項をまとめてみました。

### 第1 一般的注意事項

#### 1 良心に従って誠実に通訳を行ってください。

通訳人の皆さんには、通訳をするに当たってその旨の宣誓をしていただきます。これは、法律に基づくもので、適正な調査や審判などを実現するためのものです。

なお、故意に偽りの通訳を行いますと、処罰されることがあります。

#### 2 公正を保ってください。

少年審判は、偏りのない、公正な手続で行われなければなりません。通訳人も、通訳をするに当たっては、立場上公正さを疑われるような行動をとってはならないので、少年や保護者などと交友関係があるなど特別の関係にある場合には、直ちに申し出てください。警察や検察庁での当該少年に対する取調べに通訳人として立ち会ったことがある場合には、必ず裁判所にその旨を伝えてください。また、少年や保護者などに対して名刺を渡したり、電話番号を教えたりするなど、少年やその関係者から接触してくる機会を与えないようにしてください。



もちろん、一緒に飲食したり、贈り物を受け取ったりするなどの行為は、絶対に行わないでください。

3 職務上知り得た秘密を漏らさないでください。

少年事件の調査や審判は、少年の社会復帰を助けるため、非公開で行われ、その内容は、外部には知らされません。特に、少年の非行の内容が外部に知れると、少年が就職する妨げになったり、学校を退学になったりすることがあり、その更生に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

通訳人の方は、調査や審判などの過程で、事件の内容に関する様々なことを知ります。特に、調査や審判においては、その性質上、少年の生育環境や心身の状況など、少年のプライバシーに関することを知ることも多くあります。これらの内容は絶対に他に漏らさないでください。少年審判は、秘密性を重視して行われるものですから、秘密の保護には特に注意してください。家庭裁判所調査官による調査に際しては、少年と保護者の間でも秘密にされている事項についての話もよくありますので、これらについては、外部だけではなく、少年や保護者に対しても、絶対に漏らさないでください。

4 少年から調査や審判以外の場で質問されたり、話しかけられたりした場合にも、少年との会話の内容については十分に注意してください。

少年は、慣れない土地で身体の自由の拘束を受けるなどしていますので、自分の話す言葉を理解してくれる通訳人に様々な相談をすることもあるかと思われまます。しかし、通訳人の個人的な経験などから、審判の見通しや今後の手続などを話したりすると、これによって少年が誤った期待等を抱いてしまうおそれが多分にあります。通訳人は、少年の助言者ではありません。少年の保護者、友人などから問合せや相談があった場合も同様です。

5 裁判所では、通訳人の皆さんに、正確な通訳をしていただくために、少年の非行事実を記載した書類をお渡しすることがありますが、この書類は、審判が終了したらすぐに担当の裁判所書記官に返却してください。また、分からないことが

あれば、担当の裁判所書記官にお尋ねください。

## 第2 具体的注意事項

### 1 観護措置決定手続段階

観護措置決定手続は、少年を少年鑑別所に收容するか否かを決める重要な手続ですから、裁判官や少年が話したことを忠実に通訳してください。観護措置決定手続段階における注意事項は、基本的に審判段階におけるものと同様ですから、後記3を参考にしてください。

### 2 調査段階

- (1) 家庭裁判所調査官、少年及び保護者が話したことを忠実に通訳してください。

家庭裁判所調査官は、行動科学の専門的知識を背景に、少年との面接の中で、様々な角度から少年に質問、あるいは心理テストなどを行い、少年の要保護性を調査します。家庭裁判所調査官の質問に対する少年の返答内容や態度などは、全て少年の人格を理解するために重要な要素となり、また、家庭裁判所調査官は、少年の反応や性格などにより、質問方法を変化させていきます。したがって、家庭裁判所調査官の質問を正確に通訳し、少年や保護者の言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳したりすることは極力避けてください。また、少年や保護者が質問に対する答え以外にも話をしている場合や質問をしていないのに話を始めた場合にも、その発言を禁止せずに通訳してください。

- (2) 通訳するときに、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたりしないでください。

通訳は、発言をできるだけ忠実に通訳することが原則です。通訳人が評価を交えるなどすると、発言の本当の内容が相手に伝わらず、誤解を生じることになります。もし家庭裁判所調査官が少年や保護者の発言の意味を理解できない場合には問い直しますので、通訳人がコメントを付け加えることは遠慮してください。

なお、少年を理解する上で必要と思われるもので、少年の母国の文化などについて、どうしても少年が説明しきれず、通訳人が裁判所に伝えておくことが望ましいと思われるものがある場合には、その旨を申し出た上、家庭裁判所調査官の指示に従ってください。

- (3) 家庭裁判所調査官の質問に分からない言葉があるなど疑問があった場合には、遠慮なく家庭裁判所調査官に尋ねてください。

通訳人を付けた事件の場合、家庭裁判所調査官はできるだけ簡潔に質問をするなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問やいくつもの質問が一度にされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を家庭裁判所調査官に申し出てください。また、専門用語などで意味の分からない言葉があった場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なく申し出てください。質問の意味をよく理解しないまま通訳を行ったのでは、調査の目的は達せられません。

- (4) 少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年などに追加説明しないでください。

質問する側としては、答える側がどれだけ質問を理解したかを把握することも大切です。少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、そのまま答えを通訳した上で、よく理解できていない旨を家庭裁判所調査官に告げてください。家庭裁判所調査官は、質問を変えるなどの工夫を行います。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま調査を進めると、思わぬ誤解を生じるおそれがあります。

- (5) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、家庭裁判所調査官の方を向いたりして、合図をしてください。

### 3 審判段階

- (1) 裁判官、少年、証人その他の関係者が話したことを忠実に通訳してください。

審判では、裁判官が同じ点について様々な角度から何度も尋ねることがあり

ます。これに対し、少年が同じようなことを繰り返しているように見える場合もあります。このような場合でも、それぞれの質問のニュアンスなどに注意して、言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳することは極力避けてください。また、通訳するときには、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたり、裁判官の指示によらないで少年らの発言を禁止したりしないでください。

- (2) 裁判官等の質問に意味の分からない言葉があるなど通訳がやりにくいと感じたときは、遠慮なくその旨を裁判官に申し出てください。

通訳人を付けた事件の場合、裁判官等はできるだけ簡潔にわかりやすく質問するなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問がされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を裁判官に申し出てください。また、質問の途中で難しい言葉が出てきた場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なくその旨を申し出てください。質問の意味などをよく理解しないまま通訳を行ったのでは、審判の目的は達せられません。

- (3) 少年や証人が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年らに説明することなく、そのまま答えを通訳した上で、十分に理解できていない旨を裁判官に告げてください。裁判官は質問の仕方を変えたりして工夫します。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま手続を進めると、思わぬ誤解を生じたりします。

- (4) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、裁判官の方を向いたりして、合図をしてください。

### 第3編 定型文言の対訳

〔一般的には、ここに記載されたような方式で行われますが、必ずしもここに書かれているとおりの内容が述べられるとは限りませんし、ほかの内容が述べられることもあります。なお、本編では、裁判官が1人で、検察官が関与しない審理について記載していますが、裁判官が3人である場合や検察官が関与する場合についても、以下に記載した手続の流れは基本的に同じです。〕

#### 第1 観護措置決定手続

##### 1 家庭裁判所調査官による面接を行う場合

〔ここに記載されているほかは、第2の2以下の内容を参考にしてください。〕

私は、家庭裁判所調査官の〇〇です。

最初に、私が、今回の非行や現在の生活状況などについて聴き、その後に裁判官の面接があります。

裁判官の面接では、もう一度、君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などが聴かれます。

裁判官の面接では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

事実と違う点や納得のできない点があれば、その機会に述べてください。

裁判官は、今回の非行の内容、君のこれまでの生活状況などを考慮して、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に収容する必要があるかどうかを判断します。

##### 2 前置き

私は、裁判官の〇〇です。

君について〇〇事件が送られてきました。

今後、君に本当に非行があるかどうかを確かめた上で、最終的な処分を決めて

I. Procedimentos de Medidas para recolhimento do menor infrator na Casa de Classificação de Menores

1 Caso for realizar a entrevista com o Oficial de Tribunal de Justiça de Família.

[Fora os itens descritos aqui, deverá fazer a referência aos itens expostos abaixo de 2 do item 2.]

Eu sou \_\_\_\_\_, Oficial de Tribunal de Justiça de Família.

Em primeiro lugar, farei perguntas sobre a sua delinquência e/ou sua vida atual, e posteriormente haverá uma entrevista com o Meritíssimo Juiz.

Nesta entrevista com o Meritíssimo(a) Juiz(a), será perguntado novamente o seu nome, data de nascimento, profissão, nacionalidade, endereço no Japão e outros.

Nesta ocasião, será relatado o conteúdo da delinquência, que assume o ato praticado por você, e será dada a oportunidade para que justifique.

Se houver os pontos que não coincidam com a verdade e/ou que não o convençam, é oportuno não deixar de se expressar.

Considerando seu ato de delito, sua vida atual e outros, será tomada uma decisão pelo Meritíssimo(a) Juiz(a), com objetivo de investigar seus problemas, para ver se há ou não a necessidade de encaminhá-lo à Casa de Classificação de Menores.

2 Notas introdutórias

Eu sou Juiz(a) \_\_\_\_\_.

Encaminharam o caso \_\_\_\_\_ em relação a você.

いくこととなりますが、今日は、その前提として、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に送致する必要があるかどうかを決めます。

これからの手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の言っている意味が分からないときは、何でも遠慮なく聞いてください。

### 3 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

### 4 黙秘権の告知

これからいくつか質問しますが、君は無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

しかし、言いたいことがあれば、遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

### 5 付添人選任権の告知

君や君のお父さん、お母さんなどの保護者は、今回の審判のために、付添人を頼むことができます。

付添人とは、裁判所の審判に協力しながら、君の権利を守ったり、相談に乗ってくれたりする人です。

弁護士以外の人を付添人に頼む場合は、家庭裁判所の許可が必要です。

### 6 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。

よく聞いておいてください。

A partir deste momento, iremos decidir a medida final, somente após confirmar se existe ou não o delito, em relação a você. Hoje, com essa base, decidiremos se há ou não necessidade de encaminhá-lo à Casa de Classificação de Menores, para a conclusão da investigação.

Todos os procedimentos tomados em diante serão traduzidos em sua língua pelo intérprete designado pelo Tribunal, que fez o juramento em traduzir com fidelidade.

Quando não entender o que eu falo, pergunte, à vontade.

3 Identificação do nome do Menor e outros dados

Qual é o seu nome?

Qual é a sua data de nascimento?

Qual é a sua nacionalidade?

Qual é seu endereço no Japão?

Qual é o seu trabalho?

4 Notificação do direito ao silêncio

Você não será obrigado(a) a responder às perguntas que serão feitas daqui em diante. O ato de permanecer em silêncio não lhe trará desvantagem. Mas se quiser dizer alguma coisa, esteja à vontade. Porém, poderão ser utilizadas todas as suas declarações como evidência, independentemente de serem a favor ou contra você.

5 Notificação do direito de designação do defensor

Você e/ou seu responsável como seu pai ou mãe, poderão requerer o defensor para esta audiência. Defensor é um agente para defender seu direito, em colaboração na audiência realizada em Tribunal de Justiça de Família, bem como dar conselho e outros, para você.

Caso queira requerer o defensor, que não seja advogado, deverá ter autorização do Tribunal de Justiça de Família.

6 Notificação dos fatos da delinquência

Far-se-à leitura dos fatos do caso que foi nos encaminhado por promotor(a) público(a) (Polícia). Ouça o com atenção.



[第4 (非行事実の告知) 参照]

7 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

8 観護措置をとらない場合

君を少年鑑別所に送致しないことにします。

今日は帰ってもらいます。

しかし、これで裁判所の手続が終わったわけではありません。

後日、調査や審判の呼出しがありますから、そのときは必ず裁判所に来てください。

9 観護措置をとる場合 (決定の告知等)

君を少年鑑別所に送致することにします。

少年鑑別所にいる期間は、通常、最長4週間です。なお、場合によっては、最長8週間まで更新されることがあります。

その間、少年鑑別所の技官や家庭裁判所調査官が君の性格、環境などに問題がないかどうか、あるとすれば何かといったことを知るため、心理テストや調査を行うこととなります。この調査等にはできる限り応じてください。

また、自分自身や生活面の問題点は何か、それをどのように直していくかについて、審判で裁判官に説明できるように考えを整理しておいてください。

10 少年鑑別所収容の通知の説明

君が少年鑑別所に収容されることは、君のお父さん、お母さんなどの保護者に通知します。

誰への通知を希望しますか。

その人の名前と住所及び君とその人との関係を教えてください。

11 ウィーン条約の説明

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

[ Consultar o item 4 “ Notificação dos Fatos da Delinquência”]

7 Audição da alegação

Poderá expressar-se à vontade, quando achar algum erro e/ou não entender no que foi lido agora.

8 No caso de não tomar medida de recolhimento na Casa de Classificação de Menores

Determina que você não será encaminhado(a) à Casa de Classificação de Menores. No momento, poderá retornar-se para sua casa. Mas isso não significa que foram encerrados todos os procedimentos do Tribunal. Posteriormente você será convocado(a) para investigação e/ou audiência, e nessa ocasião deverá se apresentar, sem falta, ao Tribunal.

9 Caso de tomar a medida de recolhimento do menor (Notificação de determinação e outros)

Determinação de encaminhar você à Casa de Classificação de Menores.

Normalmente, o prazo de sua permanência à Casa de Classificação de Menores, será, no máximo, de quatro semanas. Conforme o caso, poderá ser estendido este prazo até oito semanas no máximo.

Durante este período, o oficial técnico da Casa de Classificação de Menores e/ou investigador(a) do Tribunal de Justiça de Família realizarão testes psicológicos e/ou investigações para encontrar problemas tanto em seu caráter, ambiente e outros. E, se identificar tais problemas, iremos esclarecê-los em detalhes. Para isso, contaremos com sua colaboração, o máximo possível, a esta investigação e outros.

Outrossim, compareça preparado(a) para poder expressar-se perante ao Meritíssimo(a) Juiz(a) na audiência, referente a si mesmo e/ou seus problemas identificados na sua vida, e a maneira de correção e melhoramento.

10 Explicação sobre a notificação ao seu responsável, acerca do seu recolhimento à Casa de Classificação de Menores

Iremos notificar ao seu responsável e outros, tais como seu pai e/ou mãe, sobre seu recolhimento à Casa de Classificação de Menores.

A quem você deseja que seja notificado(a)?

Favor nos informar nome e endereço deste, e a relação entre você e essa pessoa.

11 Explicação sobre o Tratado de Viena

[Exceto em caso de execução de uma comunicação, de acordo com Tratado entre os dois países]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、警察や検察官が通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

## 第2 調査手続

### 1 前置き

私は、君の担当の家庭裁判所調査官の〇〇です。

君について、〇〇事件が検察官（警察）から家庭裁判所に送られてきました。

今日は、この事件のことや君のこれまでの生活、家族のことなどについて話を聴きたいと思います。

今日は、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

### 2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

### 3 手続の説明

家庭裁判所では、本当に君に非行があるかどうかを確認します。

君に非行がある場合は、どうしてそういうことをしてしまったか、今後繰り返さないためにはどうしたらよいかということを考え、どのような指導や教育が

Conforme seu desejo, poderemos comunicar junto à Embaixada de seu país no Japão, de acordo com o Tratado de Viena, referente às relações consulares, salvo em caso de comunicação efetuada por polícia e/ou promotor(a) público(a).

Você deseja que uma comunicação seja realizada?

Outrossim, poderá enviar uma carta à Embaixada de seu país no Japão e outros, dentro das leis do Japão.

## II. Procedimentos de investigação

### 1 Notas introdutórias

Sou \_\_\_\_\_, investigador(a) de Tribunal de Justiça de Família, encarregado(a) do seu caso.

Foi encaminhado o caso \_\_\_\_\_, a respeito de você, ao Tribunal de Justiça de Família, por promotor(a) público(a) (polícia).

Hoje, realizarão perguntas a você, referente a este caso, sobre sua vida atual até hoje, sua família e outros.

Hoje, é o intérprete designado por Tribunal que efetuará tradução, o qual fez o juramento para tal serviço com fidelidade.

Quando não entender minhas perguntas, favor perguntar-me à vontade.

### 2 Identificação e outros sobre o menor

Qual é o seu nome?

Qual é a sua data de nascimento?

Qual é a nacionalidade?

Qual é o seu endereço no Japão?

Qual é o seu serviço?

### 3 Explicação sobre procedimentos

Será confirmado, em Tribunal de Justiça de Família se realmente existe ou não, o ato de delinquência praticado por você.

必要かを考慮して最も適当な処分を決めています。

今日は、今回の事件の原因を君と一緒に考えたいと思います。

君から聴いた内容は、裁判官に報告します。

裁判官は、その内容を踏まえた上で、君の処分を決めます。

#### 4 審判の説明

審判は、裁判の一種です。

審判は、原則として非公開で行うことになっています（が、この事件については、裁判所が被害者等に審判を傍聴することを許可しましたので〔被害者等から傍聴の申出が出ていますので、これを裁判所が許可すれば〕、被害者等が審判を傍聴することができます。傍聴が許されるのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重するためであることをよく理解してください。）。

審判廷には、裁判官のほか、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、君、君の保護者、君の付添人などが出席します。

審判では、裁判官が君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを確認します。

審判では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

君も、審判までに、今回の非行の原因や今後の生活などをよく考えておいてください（また、被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。）。

そして、審判の時には、君の考えていることを率直に話すようにしてください。

また、事実と違う点や納得できない点があれば、その機会に述べてください。

#### 5 処分の説明

家庭裁判所の行う処分には、施設に入って生活指導などを受けるものとして少年院送致、児童自立支援施設送致及び児童養護施設送致があります。

Caso identifique o ato de delinquência praticado por você, será tomada a medida mais adequada, levando em consideração à orientação e/ou educação necessária, para não lhe permitir mais reincidência.

Hoje, junto iremos identificar o que causou o seu caso.

O que você disser será relatado ao(à) Meritíssimo(a) Juiz(a).

E a sua medida será tomada pelo(a) Meritíssimo(a) Juiz(a), com base nesse conteúdo.

#### 4 Explicação sobre audiência

A audiência é um tipo de julgamento, e a princípio, realizará sem caráter público.

(Referente a este caso, vítima e outros poderão assistir esta audiência autorizados pelo Tribunal atendendo ao seu requerimento. “Se o Tribunal autorizar, vítima e outros poderão assistir a audiência por requerimento.” É importante para você compreender o motivo dessa autorização, para respeitar o desejo da vítima de entender o caso com detalhes, presente na audiência.)

Estarão presentes, na sala de audiência, além de Meritíssimo(a) Juiz(a) , o(a) investigador(a) de Tribunal de Justiça de Família, o escrivão judicial, você, seu responsável, seu defensor e outros.

Na audiência, será confirmado pelo(a) Meritíssimo(a) Juiz(a), o seu nome, data de nascimento, profissão, nacionalidade, endereço no Japão e outros.

E durante audiência, será declarado o conteúdo de sua assumida delinquência, e será dada a oportunidade para sua justificação.

Preliminarmente à sua audiência, procure refletir sobre a causa do seu ato e/ou sobre sua vida atual daqui para frente.

(Procure manter-se calmo e expressar-se, em frente a vítima e outros, quem estejam presentes assistindo a audiência.)

Durante a audiência, expresse-se francamente sobre o seu pensamento.

Caso hajam os pontos divergentes ao fato e/ou inconformáveis, poderá expressar-se nessa oportunidade.

#### 5 Explicação sobre a medida

Das medidas aplicadas por Tribunal de Justiça de Família, há o encaminhamento do menor às instituições para receber orientações de uma vida regrada e outros, tais como Reformatório, Instituição de Apoio para Desenvolvimento de Capacidade de Autossustento e Instituição de Assistência aos Menores.

また、社会の中で保護観察官や保護司から指導を受ける保護観察もあります。

さらに、検察官送致といって、事件を刑事裁判に回して大人と同様に罰金や懲役という刑罰によって責任をとってもらおうようにすることもあります。

君が十分に反省しており、二度と非行を繰り返すおそれがないと思われる場合には、これらの処分を行わないで事件を終了させることもあります。

また、審判を開かずに今回の手続を終わらせることもあります。

そのほかに、試験観察という中間的な処分もあります。これは、最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を適当な人の所に預けて補導してもらったり、家に帰って普通の社会生活をしたりする中で、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

なお、家庭裁判所による処分がなくても、入国管理当局の判断で、国外退去などを命じられることがあります。

### 第3 審判手続

#### 1 審判開始の宣言

今から、審判を開いて、君の処分を決めることにします。

今日の手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。

通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

#### 2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

#### 3 黙秘権の告知

Existe também, Liberdade Assistida que consiste em viver normalmente na sociedade sob a orientação do(a) oficial supervisor(a) dos menores e/ou o agente voluntário de reabilitação/hogo-shi.

Existe também, o encaminhamento do caso ao promotor(a) público(a), passa a ser processo criminal, para o menor infrator assumir seu crime, sob pena igual ao criminoso adulto pela multa e/ou aprisionamento.

O Tribunal poderá, também, encerrar seu caso, sem executar essas medidas, levando em consideração ao seu pleno arrependimento e assumindo que não ocorrerá reincidência.

Outrossim, poderá também, encerrar procedimentos deste caso, sem abrir a audiência.

E entre estes extremos opostos, há observação experimental, que é o meio termo. Esta medida consiste em deixar você sob tutela de pessoa adequada para a orientação, ou fazê-lo retornar ao lar, e levar uma vida normal dentro da sociedade durante um prazo determinado, antes de decidir sobre a disposição final. Neste período pré-determinado, você ficará sob observação quanto ao seu comportamento e circunstância de vida, para depois abrir novamente a sessão de audiência e decidir sobre a medida final aplicada.

Além disso, independente da medida aplicada pelo Tribunal de Justiça de Família, você poderá ser deportado(a) e outros, por decisão do Departamento de Controle de Imigração.

### III. Procedimentos da Audiência

#### 1 Pronunciamento de Abertura

A partir deste momento, abriremos a audiência para decidir a disposição a ser dada para o seu caso.

Os procedimentos de hoje serão traduzidos por intérprete designado(a), por este Tribunal, e que fez o juramento de traduzir com fidelidade.

Quando não compreender o sentido das minhas perguntas, favor perguntar à vontade.

#### 2 Identificação do nome e outros do Menor

Qual é o seu nome?

Qual é a sua data de nascimento?

Qual é a sua nacionalidade?

Qual é o seu endereço no Japão?

Qual é o seu trabalho?

#### 3 Notificação do direito ao silêncio



これから君に質問をしていきますが、君はこれらに無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

言いたいことがあれば、何でも遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

#### 4 被害者等の傍聴がある場合の説明

この事件では、被害者等が審判を傍聴しています。傍聴を許可したのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重したためです。被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。

#### 5 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。よく聞いておいてください。

〔第4（非行事実の告知）参照〕

#### 6 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

#### 7 証人尋問手続

今から、あなたをこの事件の証人として尋問します。

まず、うそをつかないという宣誓をしていただきます。宣誓書の内容を読み上げてください。

（証人）「良心に従って、ほんとうのことを申します。知っていることをかくしたり、無いことを申したりなど、決して致しません。以上のとおり誓います。

証人〇〇」

では、宣誓書に署名押印してください。

証人は、今宣誓したように本当のことを証言してください。

Você não será obrigado(a) a responder às perguntas que serão lhe feitas. Somente o seu ato de permanecer ao silêncio não dará o motivo para desvantagem.

Poderá expressar-se, quando quiser.

Entretanto, esteja ciente que poderão, também, ser utilizadas todas as suas declarações como evidência, independentemente de ser a favor ou contra você.

4 Explicação sobre audiência com presença da vítima e outros

Neste caso, estarão a vítima e outros presentes na audiência. O motivo de autorizar tal presença é respeitar a vontade da vítima e outros, de conhecer o caso, diretamente em detalhes, presentes na audiência. Procure expressar-se com calma na frente, com sua presença na audiência.

5 Notificação do fato da delinquência

Irei ler o relato do caso que foi enviado pelo promotor(a) público(a) (polícia). Ouça com atenção.

[Consultar o item 4 “Notificação dos Fatos da Delinquência”]

6 Audição da Alegação

Se encontrar algo errado e/ou inconformável no que foi lido agora, poderá expressar-se à vontade.

7 Procedimentos para interrogação de testemunha

A partir deste momento, irei interrogá-lo(a) como testemunha deste caso.

Em primeiro lugar, venha a fazer o juramento honestamente. Favor ler o juramento.

(Testemunha) “Eu juro, conforme a minha consciência, direi a verdade, sem ocultar o que eu sei e direi aquilo que não existe. Testemunha \_\_\_\_\_”

Pois venha a assinalar e carimbar nos termos do juramento.

Testemunha deverá prover somente fato verdadeiro, como foi jurado agora.

宣誓の上でその証言をすると、偽証罪で処罰されることがあります。

証言することによって証人自身又は証人の近親者が刑事訴追を受けたり、有罪の判決を受けたりするおそれのある事柄については、証言を拒むことができます。その場合には、申し出てください。

〔証人尋問の実施〕

以上で証人尋問を終わります。

証人は、御苦労さまでした。

#### 8 聴取の終了

これで話を聴くのを終わりにして、君に対する処分を決めることにします。最後に何か言っておきたいことがあれば言ってください。

#### 9 調査官の意見陳述

既に提出している少年調査票記載の意見欄のとおりで、特に付け加えることはありません。

#### 10 付添人の意見陳述

意見書のとおりで、特に付け加えることはありません。

#### 11 決定などの告知及びその説明

それでは、今から君の処分を告知します。

〔第5（決定などの告知及びその説明）参照〕

#### 12 抗告権の告知（保護処分に付された場合）

この決定に不服があるときは、君や君の法定代理人及び付添人は、抗告することができます。

抗告する場合には、2週間以内に、〇〇高等裁判所宛ての抗告の申立書をこの裁判所に出してください。

抗告の申立書は、少年院などの施設の長又はその代理者を通じて出すことができます。

#### 13 ウィーン条約の説明（少年院送致や少年院への戻し収容の場合）

Caso realize falso testemunho, após seu juramento, tal ato poderá levar você à punição pelo falso testemunho.

Quanto ao seu ato de testemunho ou testemunho de alguém de seus familiares poderão correr o risco de serem acusados e processados criminalmente, condenados e outros, para tanto poderão recusar o testemunho.

Nesse caso, requeira a recusa.

[Realização da interrogação da testemunha]

Por aqui, encerraremos a interrogação da testemunha.

Grato(a) pela sua colaboração.

8 Encerramento da audiência

Por aqui, encerraremos a audiência e estamos à disposição para você. Caso queira, poderá expressar-se.

9 Alegação do investigador(a)

Nada mais para ser adicionado, plenamente de acordo com opinião descrita na ficha da investigação do menor, já apresentada.

10 Alegação da opinião do defensor

Plenamente de acordo com a opinião descrita no documento, nada mais a ser adicionado.

11 Notificação da decisão e outros e respectiva explicação

O Tribunal passará a pronunciar a disposição quanto ao seu caso.

[ Consultar o item 5 “Notificação das Decisões e outros, e Respectivas Explicações”]

12 Notificação do direito à apelação (no caso da decisão a ser medida socioeducativa)

Se você estiver insatisfeito(a) com a decisão ou tiver alguma objeção, você e/ou seu representante legal ou seu defensor poderão fazer a apelação.

Neste caso, deverá apresentar o documento de apelação, dirigido ao Tribunal Superior de Justiça \_\_\_\_\_, dentro de duas semanas.

O documento da apelação poderá ser apresentado através do chefe da Instituição, tais como Reformatório e outros, ou pelo respectivo representante.

13 Explicação do Tratado de Viena (em caso do encaminhamento ou recolhimento de retorno na Escola de Disciplina de Menores)

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、今までにこの事件で通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

#### 第4 非行事実の告知

##### 1 窃盗罪（万引）の例

「君は、平成○年5月10日午後1時23分頃、東京都○○区○○町1丁目5番12号所在の株式会社○○店において、同店の店長であるAが管理していた万年筆5本（販売価格合計5万円）を盗んだものです。」

##### 2 窃盗罪（バイク盗）の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、Aが所有する第一種原動機付自転車1台（時価約15万円相当）を盗んだものです。」

##### 3 遺失物等横領罪の例

「君は、平成○年7月21日午後9時30分頃、東京都○○区○○町5丁目3番4号所在の○○自転車置場において、その場所に放置されていたAが所有する自転車1台（時価約6000円相当）を発見し、これを自分の物にするつもりで拾得して横領したものです。」

##### 4 傷害罪の例

「君は、平成○年1月15日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目6番15号先路上において、Aが君の身体にぶつかったことから口喧嘩し、腹を立てて、持っていた長さ約50センチメートルの木棒でAの頭部を5、6回

[Exceto, em caso que se determina a realizar a notificação, de acordo com o Tratado concordado entre dois países]

De acordo com o Tratado de Viena referente às relações consulares, se você desejar, poderemos notificar à Embaixada do seu país no Japão sobre sua detenção.

O Tribunal emitirá a notificação somente no caso de ainda não ter sido feita por via de outras autoridades.

Você deseja que seja notificado(a)?

Poderá também enviar a correspondência direcionada à Embaixada de seu país, desde que não infrinja as leis e regulamentos do Japão.

#### IV. Notificação dos Fatos da Delinquência

##### 1 Exemplo de caso de Furto (furto em loja)

“Você executou o furto de 5 (cinco) canetas tinteiro (pelo preço de atacado de 50.000 ienes) sob guarda do gerente A da loja \_\_\_\_\_ S.A., localizada em 5-12, 1 chome, \_\_\_\_\_-cho, \_\_\_\_\_-ku, Tóquio, por volta das 13 horas e 23 minutos, no dia 10 de maio do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_.”

##### 2 Exemplo de caso de Furto (furto de motocicleta)

“Você executou o roubo de 1 (um) veículo motorizado de duas rodas, primeira categoria (valor na época equivalente a 150.000 ienes) da propriedade de A, no endereço localizado em 3-5, 2 chome, \_\_\_\_\_-cho, \_\_\_\_\_-ku, Tóquio, por volta das 15 horas e 35 minutos, no dia 12 de outubro do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_.”

##### 3 Exemplo de caso de Apropriação Indevida de Objetos Perdidos e Outros

“Você encontrou uma bicicleta (valor na época equivalente a 6.000 ienes) e pegou-a com intenção de se apropriar, do estacionamento de bicicletas localizado na 3-4, 5 chome, \_\_\_\_\_-cho, \_\_\_\_\_-ku, Tóquio, por volta das 21 horas e 30 minutos, no dia 21 de julho do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_.”

##### 4 Exemplo de caso de Lesão Corporal

“Você começou a discussão com A por este ter lhe esbarrado(a) e, enraivecido(a), golpeou a cabeça de A por 5 a 6 vezes com um bastão de madeira de cerca de 50 centímetros de comprimento que trazia consigo, causando lacerações na parte frontal da cabeça de A que necessitou aproximadamente de três semanas de tratamento médico para se restabelecer. Isto no endereço localizado em 6-15, 1 chome, \_\_\_\_\_-

強く叩き、それによって、Aに対し、加療約3週間を要する前頭部裂傷の傷害を負わせたものです。」

#### 5 強盗罪の例

「君は、生活費に困り、通行人からお金を奪い取ろうと考えて、平成〇年6月13日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町3丁目1番12号先路上において、通りかかったA（当時18歳）を近くの路地に連れていき、Aに対し、持っていた登山ナイフを突きつけながら「金出せ。金出せ。」と言って脅迫し、Aが反抗できない状態にした上、Aの所有していた現金3万円を差し出させて奪い取ったものです。」

#### 6 殺人罪の例（その1）

「君は、平成〇年7月12日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町3丁目10番5号所在の平和住宅1号室において、君の長男A（当時生後1か月）の養育に疲れ、将来を悲観して、Aを殺そうと決意し、持っていたタオルでAの頸部を絞めつけるなどし、そのことによりAを窒息死させて殺害したものです。」

#### 7 殺人罪の例（その2）

「君は、平成〇年1月31日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町6丁目3番4号先路上において、A（当時19歳）から身体が触れたことで因縁をつけられ、突然腹部などを数回足蹴りするなどの暴行を加えられたことにかつとなり、とっさに、殺意をもって、持っていたナイフ（刃体の長さ約15センチメートル）で、Aの右胸部を数回突き刺し、右胸部に刺し傷を負わせ、間もなく、その場所において、その刺し傷による出血多量によりAを死亡させて殺害したものです。」

#### 8 覚せい剤取締法違反罪の例

「君は、法定の除外事由がないのに、平成〇年10月21日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町1丁目2番8号所在の平和住宅2号室において、フェニルメチルアミノプロパンの塩類若干量を含有する水溶液を、自分の身体に注

cho, \_\_\_\_\_-ku, Tóquio, por volta das 22 horas e 30 minutos, no dia 15 de janeiro do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_.”

5 Exemplo de caso de Roubo

“Levado pelas dificuldades de subsistência, e com intuito de roubar dinheiro de um transeunte, você abordou A (de 18 anos na época) no endereço localizado em 1-12, 3 chome, \_\_\_\_\_-cho, \_\_\_\_\_-ku, Tóquio, por volta das 22 horas e 30 minutos, no dia 13 de junho do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_, apontou uma faca de alpinismo que portava e levou-o a um beco nas proximidades, em seguida ameaçou dizendo “カネダセ、カネダセ”, e além de ter deixado A sem defesa, extorquiou 30.000 ienes que este trazia consigo.”

6 Exemplo de caso de Homicídio (caso 1)

“Exausto de cuidar de seu filho primogênito (recém nascido de um mês), sem saber o que fazer e sem esperança no futuro, você decidiu tirar-lhe a vida, estrangulando-o no pescoço, com a toalha que tinha em sua mão, resultando na morte do mesmo, no quarto 1 de Heiwa Jutaku situado em 10-5,3 chome, \_\_\_\_\_-cho, \_\_\_\_\_-ku, Tóquio, por volta das 22 horas e 30 minutos, no dia 12 de julho do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_.”

7 Exemplo de caso de Homicídio (caso 2)

“Por volta das 22 horas e 30 minutos, no dia 31 de janeiro do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_, no endereço situado em 3-4, 6 chome, \_\_\_\_\_-cho, \_\_\_\_\_-ku, Tóquio, você foi abordado por A ( de 19 anos na época) sob pretexto de ter-lhe tocado no corpo, e, sendo subitamente agredido a chutes por várias vezes no ventre e outros, tomado de raiva, empunhou uma faca que trazia consigo, (de lâmina aproximadamente 15 centímetros) e com a intenção de matar, cravou a arma por várias vezes no peito direito do A. Neste local, provocou com o ato, um ferimento com lesões no peito e sua consequente morte por perda de sangue em pouco tempo.”

8 Exemplo de caso de Infração da Lei sobre Controle de Drogas e Estimulantes

“Por volta das 22 horas e 30 minutos no dia 21 de outubro do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_, no apartamento 2 (da) Heiwa Jutaku situado a 2-8, 1 chome, \_\_\_\_\_ - cho, \_\_\_\_\_ - ku, Tóquio, você utilizou drogas estimulantes, aplicando no seu corpo uma



射し、覚せい剤を使用したものです。」

#### 9 毒物及び劇物取締法違反罪の例

「君は、平成○年5月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する劇物で、政令で定められたトルエンを、みだりに吸入したものです。」

#### 10 過失運転致傷罪の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町3丁目7番8号先路上において、普通乗用自動車を運転して○○区○○町方面から○○区○○町方面に向かい、時速約80キロメートルの速度で進行中、その場所の手前は左方にカーブして前方の見通しが困難であったので、あらかじめ減速し安全に走行できるようにハンドル、ブレーキなどを的確に操作して進行すべき運転者としての注意義務があったのに、これを怠り、先程の速度のまま的確なハンドル操作をせずに進行した過失により、自分の自動車を対向車線に進入させ、対向して進行してきたA（当時21歳）運転の普通乗用自動車の前部に自分の自動車の右前部を衝突させ、Aに全治約2か月間を要する右大腿骨骨折などの傷害を負わせたものです。」

#### 11 道路交通法違反（無免許運転）の例

「君は、公安委員会の運転免許を受けないで、平成○年10月5日午後10時30分頃、東京都○○区○○町5丁目9番5号○○町交差点付近路上において、自動二輪車を運転したものです。」

#### 12 道路交通法違反（速度違反）の例

「君は、平成○年2月13日午後10時30分頃、公安委員会が道路標識によって最高速度を時速40キロメートルと定めた東京都○○区○○町2丁目5番7号付近道路において、その最高速度を超える時速80キロメートルで普通乗用自動車を運転したものです。」

#### 13 売春防止法違反の例

- injeção de líquido contendo pouco volume de solução de água, composto de fenil metil-aminopropano, sem razão legal para tratamento excepcional.”
- 9 Exemplo de caso de Infração da Lei sobre Controle de Tóxicos e Venenos Mortíferos  
“Por volta das 22 horas e 30 minutos no dia 12 de maio do ano \_\_\_\_\_ de Heisei/20\_\_\_\_\_, no endereço situado em 3-5, 2 chome, \_\_\_\_\_ - cho, \_\_\_\_\_ - ku, Tóquio, você, sem razão legal para tratamento excepcional, aspirou o tolueno, que pela classificação oficial está designado como sendo tóxico e com efeito anestésico, alucinante e excitante.”
- 10 Exemplo de caso de Lesão Corporal Culposa na Direção de Veículo (Automotor)  
“Por volta das 15 horas e 35 minutos no dia 12 de outubro do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_, no endereço situado 7-8, 3 chome, \_\_\_\_\_ - cho, \_\_\_\_\_ - ku, Tóquio, você conduziu o automóvel de passeio na direção de \_\_\_\_\_ - cho, \_\_\_\_\_ - ku para a direção de \_\_\_\_\_ - cho, \_\_\_\_\_ -ku, com a velocidade, aproximadamente, de 80km/h, e por dificuldade de visão à sua frente devido à curva para esquerda existente um pouco antes desse local, como motorista devia conduzir o veículo automotor, e tomar cuidado reduzindo a velocidade seguindo com segurança através do uso de freio e manejo apropriado do volante. O dever de motorista é condução correta e adequada, porém, devido a negligência continuou seguindo com a mesma velocidade, e em consequência perdeu o controle da direção e invadiu com seu veículo automotor a faixa oposta por onde vinha o A (de 21 anos na ocasião) dirigindo o automóvel de passeio, e colidiu a parte direita da dianteira do seu veículo automotor contra a parte dianteira do veículo automotor do citado A, causando-lhe lesão corporal incluindo a fratura do fêmur direito e outros, com necessidade de, aproximadamente, dois meses para o tratamento médico.”
- 11 Exemplo de caso de Infração da Lei de Trânsito (dirigir sem habilitação)  
“Por volta das 22 horas e 30 minutos no dia 5 de outubro do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_, na proximidade do cruzamento \_\_\_\_\_ - cho, situado em 9-5, 5 chome, \_\_\_\_\_ - cho, \_\_\_\_\_ - ku, Tóquio, você dirigia uma motocicleta (veículo motorizado de duas rodas) sem possuir a habilitação emitida pelo Conselho de Segurança Pública.”
- 12 Exemplo de caso de Infração da Lei de Trânsito (excesso de velocidade)  
“Por volta das 22 horas e 30 minutos no dia 13 de fevereiro do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_, no endereço situado em 5-7, 2 chome, \_\_\_\_\_ -cho, \_\_\_\_\_ -ku, Tóquio, onde a velocidade máxima está determinada pelo Conselho de Segurança Pública em 40km/h e indicada pela placa de trânsito, você dirigiu o veículo automotor ultrapassando a velocidade máxima permitida a 80km/h.”
- 13 Exemplo de caso de Violação da Legislação Anti-Prostituição

「君は、売春をする目的で、平成○年3月10日午後6時35分頃、東京都○○区○○町1丁目1番18号付近路上において、その場所を通行中のAに対し、「遊びませんか社長。ホテルいい3万円。」などと言って誘い、公衆の目に触れるような方法で人を売春の相手方となるよう勧誘したものです。」

#### 14 出入国管理及び難民認定法違反の例

「君は、○○国国籍を有する外国人で、平成○年6月12日、○○国の政府が発行した旅券を持って、千葉県成田市にある新東京国際空港に上陸して日本の国に入ったものですが、在留期限は同年6月27日までであったのに、その日までに日本の国から出国せず、平成○年6月9日まで、東京都○○区○○町3丁目5番12号に住み、在留期間を経過して不法に日本の国に残留したものです。」

#### 15 ぐ犯の例

「君は、○○国の養父母のもとで育ち、平成○年4月20日頃、出稼ぎのために来日し、その年の5月1日頃からストリップ劇場でダンサーとして働くようになりました。その後、同じような劇場数か所を転々とし、現在は、東京都○○区○○町2丁目3番8号所在の、暴力団○○組幹部で覚せい剤取締法違反の前科、前歴を有するA方のアパートに泊まり、A及びその仲間と共に無為徒食の生活を送っていました。そして、この間、君は、数十名の劇場の客や複数の暴力団組員と性的関係を持って小遣いをもらうなど、いかがわしい場所に入りするとともに、犯罪性のある人と交際しています。君の性格、環境に照らし、将来、売春防止法違反あるいは覚せい剤取締法違反の罪を犯すおそれがあるというのが事件の内容です。」

### 第5 決定などの告知及びその説明

#### 1 保護観察決定などの告知及びその説明

##### (1) 保護観察決定の告知及びその説明

“Por volta das 18 horas e 35 minutos no dia 10 de março do ano \_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_, você convidou A que passava no endereço localizado em 1-18, 1 chome, \_\_\_\_ - cho, \_\_\_\_ -ku, Tóquio, com intuito de se entregar à prostituição, dizendo-lhe : “アソビマセンカシャチヨウ。ホテルイイサンマンエン”. E incitou o homem, em público, a aceitar sua oferta de prostituição.”

14 Exemplo de caso de violação da Lei de Controle de Imigração e Registro de Estrangeiro

“Você é o(a) estrangeiro(a), de nacionalidade \_\_\_\_\_, (desembarcando ao Japão através do Novo Aeroporto Internacional de Tóquio, no dia 12 de junho do ano \_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_, situado em Narita-shi, Chiba-ken, portando o passaporte emitido pelo governo do país) \_\_\_\_\_. E seguiu a permanecer no Japão em estado ilegal, ultrapassando o prazo de permanência determinado até o dia 27 de junho do mesmo ano, sem partir do Japão até essa data, e residiu em 12, 5, 3 chome, \_\_\_\_ - cho, \_\_\_\_ - ku, Tóquio até o dia 9 de junho do ano \_\_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_.”

15 Exemplo de Pré-delinquência

“Você foi educada e criada pelos pais adotivos de nacionalidade \_\_\_\_\_, e por volta do dia 20 de abril do ano \_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_, veio ao Japão à procura de trabalho. Desde o dia 1 de maio do mesmo ano, resultou-se a trabalhar como dançarina numa casa de strip-tease. Após trabalhar em diversas casas do mesmo gênero, vive atualmente num apartamento situado a 3-8, 2 chome, \_\_\_\_ -cho, \_\_\_\_ - ku, Tóquio, partilhando a vida com A, que é transgressor com antecedente criminal de transgressão à lei de controle sobre drogas estimulantes, e membro do grupo \_\_\_\_ gumi, dado ao banditismo e chamado correntemente de Boryokudan. Você levava uma vida de ociosidade com A e seus companheiros, mantendo relação sexual com os membros do referido grupo, o mesmo acontece com algumas dezenas de fregueses da casa de shows onde trabalha em troca de favores, e frequenta com eles a locais de reputação duvidosa. Em conformidade do conteúdo da ocorrência, e considerando seu caráter e ambiente em que se vive, é previsto que violou a Lei Anti-Prostituição ou Lei de Controle de Drogas Estimulantes.”

V. Notificação das Decisões e Respectivas Explicações

1 Notificação da decisão de liberdade assistida e outros, e respectiva explicação

(1) Notificação da decisão de supervisão assistencial e respectiva explicação

君を〇〇保護観察所の保護観察に付します。

保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官や保護司の指導を受けることとなります。

(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明

君を交通保護観察に付します。ただし、保護観察所に対しては、短い期間で処遇が終わるようという勧告を付けておくこととします。

交通保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官による指導を受けるほか、交通に関する講習を受けることとなります。

2 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明

君を児童自立支援施設（児童養護施設）に送致します。

君は児童自立支援施設（児童養護施設）に入所し、施設の職員から生活指導などを受けることとなります。

3 少年院送致決定などの告知及びその説明

(1) 少年院送致決定の告知及びその説明

君を第〇種少年院に送致します。

君は、少年院に収容され、生活指導などの矯正教育を受けることとなります。

(2) 処遇勧告の告知及びその説明

ア 短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

イ 特別短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、特に短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

また、できる限り日課の一部を君に計画させ、実施させることなど開放的な教育を受けることができるよう求める勧告も付けておくこととします。

4 不処分決定の告知

Foi decidido que você será colocado(a) à liberdade assistida sob supervisão por Instituto de Supervisão e Reabilitação \_\_\_\_\_.

Na liberdade assistida você poderá levar uma vida na sociedade desde que seja sob a orientação do oficial supervisor ou do(a) supervisor(a) voluntário(a) da reabilitação.

- (2) Notificação do regime recomendado para liberdade assistida em ato infracional do trânsito de curto prazo e respectiva explicação

Você será colocado(a) em liberdade assistida (devido ato infracional) do trânsito, sob supervisão pelo Instituto de Supervisão e Reabilitação, com a recomendação de terminar esta liberdade assistida a curto prazo, e direcionada ao Instituto de Supervisão e Reabilitação.

Na liberdade assistida do menor infrator do trânsito, você poderá ter uma vida sob a orientação do oficial supervisor, além de ter que fazer o curso de segurança no trânsito.

- 2 Notificação de decisão do seu encaminhamento à Instituição de Apoio para Desenvolvimento de Autossustento ou à Instituição de Assistência aos Menores, e respectiva explicação.

Você será encaminhado(a) à Instituição de Apoio para Desenvolvimento de Capacidade de Autossustento (à Instituição de Assistência aos Menores).

Você ingressará na Instituição de Apoio para Desenvolvimento de Capacidade de Autossustento (Instituição de Assistência aos Menores) e receberá orientação de uma vida disciplinada, pelos funcionários deste estabelecimento.

- 3 Notificação de decisão do seu encaminhamento ao Reformatório e outros, e respectiva explicação

- (1) Notificação da decisão do seu encaminhamento ao Reformatório, e respectiva explicação

Você será encaminhado(a) ao Reformatório de categoria \_\_\_\_\_.

Você será recolhido(a) ao Reformatório e receberá educação correcional, tal como orientação de uma vida disciplinada e outros.

- (2) Notificação de recomendação do regime e respectiva explicação

- a) Explicação sobre recomendação do regime de curto prazo e respectiva explicação

Será colocada a recomendação direcionada ao Reformatório, que seja adequada a terminar no curto prazo.

- b) Explicação sobre recomendação do regime especial de curto prazo

Ressalta-se ainda que, será colocada a recomendação ao Reformatório, que será adequado quando terminar o regime no curto prazo.

Também será adicionada uma recomendação para requerer uma educação aberta, que lhe permita a planejar, exercer e outros, o mais possível por si mesmo, em toda a sua jornada.

- 4 Notificação da decisão do regime de não aplicação

君を保護処分につさないことにします。

5 知事又は児童相談所長への送致決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長（〇〇知事）に送致します。

6 検察官送致決定の告知

君の事件を〇〇地方検察庁の検察官に送致します。

7 強制的措置許可決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長に送致します。

児童相談所長が、君に対し、平成〇年〇月〇日から、〇年間に、通算〇〇日を限度として、君の自由を制限する強制的な措置をとることを許可することとします。

8 強制的措置不許可決定の告知

児童相談所長が君に対して君の自由を制限するような強制的な措置をとることは、許可しないこととしました。

9 試験観察決定などの告知及びその説明

君を家庭裁判所調査官〇〇の観察に付します。

試験観察は、君に対する最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を〇〇に預けて補導してもらいながら（家に帰って普通の社会生活をしながら）、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

君に対し、試験観察中に守るべき事柄として、①・・・、②・・・を指示します。

10 没取決定の告知

押収してある〇〇を没取します。

11 訴訟費用負担決定の告知

家庭裁判所に送致される前の国選弁護費用として要した訴訟費用〇〇万円は君に負担させることにします。

- Decidimos a não lhe aplicar o regime protetivo.
- 5 Notificação da decisão do encaminhamento do caso ao Governador ou ao  
Diretor do Centro de Orientação dos Problemas Infantis Decidimos encaminhar o seu caso ao Diretor de Instituto de Orientação dos Problemas Infantis \_\_\_\_\_ (ao Governador de \_\_\_\_\_).
- 6 Notificação da decisão do encaminhamento do caso ao promotor(a) público(a)  
Decidimos encaminhar seu caso ao(a) promotor(a) público(a) da Procuradoria Pública Regional \_\_\_\_\_.
- 7 Notificação de autorização da disposição compulsória  
Será encaminhado o seu caso ao Diretor(a) de Instituto de Orientação dos Problemas Infantis.  
Autorizamos o(a) diretor(a) do Instituto de Orientação dos Problemas Infantis a tomar disposição compulsória a você. Isto consiste em restringir sua liberdade a partir do dia \_\_\_\_ de \_\_\_\_ do ano \_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_, durante \_\_\_\_ ano(s), com o limite máximo de \_\_\_\_ dia(s) no total.
- 8 Notificação da não autorização do regime compulsório  
Ficou determinado que não autorizamos o(a) diretor(a) do Instituto de Orientação dos Problemas Infantis, aplicar o regime compulsório, a você, que possa restringir sua liberdade.
- 9 Notificação de determinação de observação experimental e outros, e respectiva explicação  
Você será colocado(a) em observação realizado por um tutor \_\_\_\_ do Tribunal de Justiça de Família.  
A observação experimental consiste nas seguintes etapas : deixar você a cargo de \_\_\_\_ sob sua orientação durante determinado período, enquanto retorna-se à sua casa para aproveitar uma vida social comum; antes de tomar uma decisão final a você, observaremos seu comportamento e/ou vida atual; e considerando esse processo agendaremos mais uma audiência; e finalmente tomaremos uma decisão sobre a disposição final.  
Serão lhe dados itens 1 \_\_\_\_ e 2 \_\_\_\_, a quais você obedecerá durante o período de observação experimental.
- 10 Notificação da decisão de confisco  
O objeto \_\_\_\_ apreendido será confiscado.
- 11 Notificação sobre a decisão de cobrança das despesas do processo  
Foi decidido que você irá assumir os honorários ao(à) advogado(a) designado(a) pelo governo, que necessitou antes de você ser encaminhado(a) ao Tribunal de Justiça de Família, no valor de \_\_\_\_ ienes.



12 戻し収容決定の告知

君を第○種少年院に戻して収容します。

13 収容継続決定の告知

君を平成○年○月○日まで第○種少年院に継続して収容します。

14 保護処分取消決定の告知

君に対する保護観察（児童自立支援施設送致，児童養護施設送致，少年院送致）  
決定を取り消します。

15 施設送致決定の告知

〔前記 2（児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明）  
及び 3（少年院送致決定などの告知及びその説明）参照〕

12 Notificação da decisão de reaprisionamento

Você será recolhido(a) de volta ao Reformatório de categoria \_\_\_\_\_.

13 Notificação da decisão da continuação do recolhimento

Você continuará a ser recolhido(a) no Reformatório de categoria\_\_\_\_\_, até o dia \_\_\_\_ de \_\_\_\_ do ano \_\_\_\_ de Heisei / 20\_\_\_\_\_.

14 Notificação da anulação do regime protetivo

Decidimos anular a liberdade assistida que foi determinada para você (do seu encaminhamento à Instituição de Apoio para Desenvolvimento de Capacidade de Autossustento, Instituição de Assistência aos Menores e Reformatório).

15 Notificação sobre a decisão do seu encaminhamento à Instituição

[Consultar o item anterior nº 2 (Notificação e respectiva explicação sobre a decisão do seu encaminhamento à Instituição de Apoio para Desenvolvimento de Capacidade de Autossustento ou à Instituição de Assistência aos Menores) e nº 3 (Notificação e respectiva explicação sobre a decisão e outros do seu encaminhamento ao Reformatório).]

## 第6 書式例

### 書式1 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）

#### 少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について（ ）少年鑑別所へ送致されることになりました。少年に対しては、以後、原則として、次の手続で処分が決められます。
  - (1) 観護措置  
少年鑑別所では、少年の身柄を確保し、併せて、少年の心身の鑑別を行います。ここでの収容期間は、通常、最大限4週間です。なお、場合によっては、最大限8週間まで更新されることがあります。
  - (2) 調査  
(1)の鑑別と並行して、家庭裁判所調査官が少年に関する調査を行います。この調査の目的は、非行の原因、少年の性格や行動のみならず、家庭、学校、職場、友人関係などの環境等について調査し、少年に対して最も有効適切な処分は何かを明らかにすることです。
  - (3) 審判  
(2)の調査が終わると、審判を開きます。審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。  
審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めるときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
  - (1) 保護観察  
通常の社会生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
  - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致  
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
  - (3) 少年院送致  
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
  - (4) 検察官送致  
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
  - (5) 不処分  
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
  - (6) 試験観察  
(1)から(5)までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて指導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
  - (1) 付添人選任権  
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
  - (2) 黙秘権  
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
  - (3) 不服申立書  
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

6 : Formulário

Formulário 1: Ao menor e seus Responsáveis ( para o caso de detenção)  
Ao Menor e seus Responsáveis

1. Foi emitida para este jovem a ordem de seu encaminhamento à Casa de Classificação dos Menores \_\_\_\_\_ por motivo do caso com proteção ao menor infrator \_\_\_\_\_. Daqui para frente, por via de regra, a medida será aplicada seguindo as formalidades abaixo.
  - (1) Medida de recolhimento na Casa de Classificação de Menores  
Na Casa de Classificação de Menores, o menor ficará sob guarda e será submetido aos exames físicos e mentais, sendo normalmente o período de detenção de quatro semanas no máximo. Conforme o caso, este período poderá ser estendido até oito semanas no máximo.
  - (2) Investigação  
Concomitantemente à Classificação do item (1), o Oficial do Tribunal de Justiça de Família fará investigação a respeito do menor. A finalidade desta investigação é de encontrar a medida mais adequada e eficaz para se aplicar, considerando os resultados das investigações a respeito, não só dos motivos da delinquência, do caráter e do comportamento do menor, mas também da investigação social do ambiente do lar, escola, serviço e relacionamento entre amigos.
  - (3) Audiência  
Ao terminar as investigações do item (2), será aberta a sessão de audiência. A audiência é uma espécie de julgamento, sem caráter público. Estarão presentes no Tribunal o menor em juízo e o responsável (defensor, se houver), (poderão presenciar também, conforme o caso, o professor da escola que ele frequenta, o supervisor voluntário da reabilitação, promotor público, etc. ). Na audiência será inquirido se o menor praticou realmente o delito, se não havia problema no ambiente do seu convívio ou no seu caráter, consultando entre outros os resultados da investigação feita pelo Oficial do Tribunal de Justiça de Família, e a partir desses elementos, o juiz decidirá que medida tomar para o menor infrator.  
Se houver no decorrer das investigações por parte do Juiz do Tribunal de Justiça de Família, fatos que não coincidam com a verdade ou que não convençam o menor em juízo, este terá o direito de se manifestar. Poderá também. (Se o Tribunal julgar necessário, será investigado).
2. As principais medidas aplicadas pelo Tribunal de Justiça de Família são as seguintes :
  - (1) Liberdade assistida  
É a medida que consiste em continuar, o menor, em liberdade sob orientação do oficial supervisor do Instituto de Supervisão e Reabilitação e tem como finalidade a correção e reabilitação do menor.
  - (2) Encaminhamento do menor à Instituição de Apoio para Desenvolvimento de Capacidade de Autossustento ou à Instituição de Assistência aos Menores. É a medida que consiste no ingresso a estes estabelecimentos a fim de receber educação ou orientação necessária.
  - (3) Encaminhamento do menor ao Reformatório  
O menor será encaminhado ao Reformatório a fim de receber educação corretiva.
  - (4) Encaminhamento da causa ao promotor público  
Será tratado como uma causa criminal e levado ao promotor público, com as mesmas formalidades forenses dos adultos, para ser efetuado o processo criminal.
  - (5) Decisão de encerramento  
É a medida tomada quando não se identifica a infração por parte do menor, ou quando esta faz jus a qualquer medida ou penalidade.
  - (6) Observação experimental  
Para se chegar à determinação final contido nos itens de (1) a (5), haverá um período determinado em que o menor ficará sob observação ( a cargo de um supervisor do Tribunal de Justiça de Família ), tanto em relação ao comportamento assim como em relação ao seu aproveitamento. Durante a fase de observação, ele poderá ter a guarda sob tutela de alguém pela orientação em instituições particulares (incumbência de orientação do menor infrator).
3. Ao menor e aos responsáveis são reconhecidos os seguintes direitos:
  - (1) Direito de designação do defensor  
O menor ou seu responsável poderá designar seu defensor. O defensor, ao mesmo tempo que colabora na audiência do Tribunal de Justiça de Família, terá as mesmas atribuições como advogado de defesa de uma causa criminal, mas tanto poderá ser um advogado como próprio responsável ou uma outra pessoa desde que haja autorização do Tribunal.
  - (2) Direito ao silêncio  
O menor, ao ser inquirido pelo juiz, e no caso de não querer dar a resposta, não é obrigado a se manifestar. No entanto, como o Tribunal decidirá que atitude tomar perante o caso a partir das declarações do menor, será de seu interesse declarar tudo que tem a dizer da forma mais exata possível.
  - (3) Direito à inclusão de objeção  
Se houver objeção ou estiver insatisfeito com a decisão relatada no item de (1) a (3) de 2, o menor, seu representante legal ou mesmo o seu defensor poderá proceder a apelação ao Tribunal de Justiça Superior dentro de duas semanas.
4. Outros esclarecimentos além do que foi exposto acima, poderá procurar o Escrivão Judicial ou o Oficial do Tribunal de Justiça de Família encarregado do caso.

Data : \_\_\_\_\_ de \_\_\_\_\_ de 20 \_\_\_\_\_

Divisão \_\_\_\_\_ do Tribunal de Justiça de Família

## 書式2 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）

### 少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について家庭裁判所で審判を受けることになりました。  
審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。  
裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めたときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
  - (1) 保護観察  
通常の世界生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
  - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致  
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
  - (3) 少年院送致  
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
  - (4) 検察官送致  
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
  - (5) 不処分  
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
  - (6) 試験観察  
(1) から (5) までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて補導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
  - (1) 付添人選任権  
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
  - (2) 黙秘権  
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
  - (3) 不服申立書  
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

Formulário 2 : Ao Menor e seus Responsáveis (liberdade vigiada domiciliar)  
Ao menor e seus responsáveis

1. Foi emitida para este menor a ordem de comparecer ao Tribunal de Justiça de Família para a sessão de audiência a respeito do caso \_\_\_\_\_ com proteção ao menor infrator  
Ao terminar as investigações do item (2), será aberta a sessão de audiência. A audiência é uma espécie de julgamento, sem caráter público. Estarão presentes no Tribunal o menor em juízo e o responsável (defensor, se houver), (poderão presenciar também, conforme o caso, o professor da escola que ele frequenta, o supervisor voluntária da reabilitação, promotor público, etc. ). Na audiência será inquirido se o menor praticou realmente o delito, se não havia problema no ambiente do seu convívio ou no seu caráter, consultando entre outros os resultados da investigação feita pelo Oficial do Tribunal de Justiça de Família, e a partir desses elementos, o juiz decidirá que medida tomar para o menor infrator. Se houver no decorrer das investigações por parte do Juiz do Tribunal de Justiça de Família, fatos que não coincidam com a verdade ou que não convençam o menor em juízo, este terá o direito de se manifestar. Poderá também requerer testemunhas ou provas que ainda não foram apresentadas. (Se o Tribunal julgar necessário, será investigado).
2. As principais medidas aplicadas pelo Tribunal de Justiça de Família são as seguintes :
  - (1) Liberdade assistida  
É a medida que consiste em continuar, o menor, em liberdade sob orientação do oficial supervisor do Instituto de Supervisão e Reabilitação e tem como finalidade a correção e reabilitação do menor.
  - (2) Encaminhamento do menor à Instituição de Apoio para Desenvolvimento de Capacidade de Autossustento ou à Instituição de Assistência aos Menores. É a medida que consiste no ingresso a estes estabelecimentos a fim de receber educação ou orientação necessária.
  - (3) Encaminhamento do menor ao Reformatório  
O menor será encaminhado ao Reformatório a fim de receber educação corretiva.
  - (4) Encaminhamento da causa ao promotor público  
Será tratado como uma causa criminal e levado ao promotor público, com as mesmas formalidades forenses dos adultos, para ser efetuado o processo criminal.
  - (5) Decisão de encerramento  
É a medida tomada quando não se identifica a infração por parte do menor, ou quando esta faz jus a qualquer medida ou penalidade.
  - (6) Observação experimental  
Para se chegar à determinação final contido nos itens de (1) a (5), haverá um período determinado em que o menor ficará sob observação ( a cargo de um supervisor do Tribunal de Justiça de Família ), tanto em relação ao comportamento assim como em relação ao seu aproveitamento. Durante a fase de observação, ele poderá ter a guarda sob tutela de alguém pela orientação em instituições particulares (incumbência de orientação do menor infrator).
3. Ao menor e aos responsáveis são reconhecidos os seguintes direitos:
  - (1) Direito de designação do defensor  
O menor ou seu responsável poderá designar seu defensor. O defensor, ao mesmo tempo que colabora na audiência do Tribunal de Justiça de Família, terá as mesmas atribuições como advogado de defesa de uma causa criminal, mas tanto poderá ser um advogado como próprio responsável ou uma outra pessoa desde que haja autorização do Tribunal.
  - (2) Direito ao silêncio  
O menor, ao ser inquirido pelo juiz, etc., e no caso de não querer dar a resposta, não é obrigado a se manifestar. No entanto, como o Tribunal decidirá que atitude tomar perante o caso a partir das declarações do menor, será de seu interesse declarar tudo que tem a dizer da forma mais exata possível.
  - (3) Direito à inclusão de objeção  
Se houver objeção ou estiver insatisfeito com a decisão relatada no item de (1) a (3) de 2, o menor, seu representante legal ou mesmo o seu defensor poderá proceder a apelação ao Tribunal de Justiça Superior dentro de duas semanas.
4. Outros esclarecimentos além do que foi exposto acima, poderá procurar o Escrivão Judicial ou o Oficial do Tribunal de Justiça de Família encarregado do caso.

Data : \_\_\_\_\_ de \_\_\_\_\_ de 20\_\_\_\_\_

Divisão \_\_\_\_\_ do Tribunal de Justiça de Família

書式 3 審判期日通知書

平成 年 第 少年 第 号	保護事件
(備考)	
<h2 style="margin: 0;">審判期日通知書</h2>	
少年 殿	
保護者 殿	
<p>上記少年に対する保護事件の審判が開かれることになりましたから、少年と保護者の方は一緒にこの書面を持って、</p>	
平成 年 月 日	午前 時 分 午後
<p>に当裁判所に出頭してください。</p>	
<p>(注意) この期日に出頭できないときは、その理由を詳しく書いた書面を必ず下記裁判所書記官あて至急送ってください。</p>	
平成 年 月 日	
家庭裁判所	家庭裁判所
裁判所書記官	電話 ( ) (代表) 内線 番

## Formulário 3 : Notificação da Data de Audiência

20\_\_\_\_ Sho Nº.\_\_\_\_ Caso com proteção ao menor infrator : \_\_\_\_\_

### NOTIFICAÇÃO DA DATA DE AUDIÊNCIA

Ao Menor: \_\_\_\_\_

Ao Responsável : \_\_\_\_\_

Será aberta a audiência referente ao caso, no qual estará em juízo o menor acima mencionado. Solicitamos o comparecimento do menor e seu responsável a este Tribunal, no dia \_\_ de \_\_ de 20\_\_, às \_\_ horas (da manhã/da tarde), portando esta Notificação.

Atenção : Na impossibilidade do seu comparecimento nesta data, envie imediatamente uma carta endereçada ao Escrivão Judicial abaixo mencionado, detalhando a razão pela qual não poderá comparecer.

Data : \_\_ de \_\_ de 20\_\_

Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_

Escrivão Judicial: \_\_\_\_\_

(Obs.)

\_\_\_\_\_ Tribunal de Justiça de Família

Tel :

Ramal (       )



書式 4 呼出状

平成 年 少年第 号

呼 出 状

少年 殿

保護者 殿

少年

年 月 日生

住居

上記少年に対する保護事件の審判を、きたる 月 日 午前 時行います  
ので に出頭して下さい。

なお、正当な理由がないのにこの呼出しに応じないと同行状を発することがあります。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注意 1 当日は認印を持参し、この呼出状を当庁書記官室に差し出して下さい。  
2 病气その他で出頭できないときは、必ず電話、手紙などで当庁書記官室に連絡して下さい。

## Formulário 4 : Convocação

20\_\_\_\_ Sho Nº.\_\_\_\_ Caso com proteção ao menor infrator \_\_\_\_

### CONVOCAÇÃO

Ao Menor: \_\_\_\_\_

Ao Responsável: \_\_\_\_\_

Nome do Menor:

Data do Nascimento:

Endereço :

O menor acima mencionado está convocado a comparecer na sessão de audiência referente a proteção ao menor infrator, que lhe concerne, a realizar-se no \_\_\_\_\_, no dia \_\_ de \_\_ de 20\_\_, às \_\_\_\_ horas (da manhã/da tarde).

O seu não comparecimento sem motivo justificado poderá ocasionar em ordem de apresentação sob escolta.

Data: \_\_ de \_\_ de 20\_\_\_\_

Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_

Juiz: \_\_\_\_\_

- Atenção
1. Ao se apresentar, deverá trazer o seu carimbo registrado e levar esta convocação à sala do escrivão judicial deste Tribunal de Justiça de Família.
  - 2 Na impossibilidade do comparecimento por força maior ou doença, o fato deverá ser comunicado, sem falta, por telefone ou carta à sala do escrivão judicial deste Tribunal de Justiça de Família.



## Formulário 5: Convocação (para investigação)

20\_\_\_\_ Sho Nº.\_\_\_\_ Caso com proteção ao infrator menor \_\_\_\_\_

### CONVOCAÇÃO (para investigação)

Ao Menor: \_\_\_\_\_

Ao Responsável: \_\_\_\_\_

O Tribunal de Justiça de Família, realizará investigações a respeito do caso com proteção ao menor infrator que lhe concerne, de modo que o menor e o responsável acima mencionados estão convocados a comparecer no Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_, no \_\_\_ andar, sala do Oficial de Justiça, portando esta convocação, no dia \_\_ de \_\_\_ (\_\_\_ - feira), às \_\_\_ horas e \_\_\_ minutos (da manhã/da tarde).

Data: \_\_ de \_\_ de 20\_\_

Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_

Investigador do Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_

(Obs)

1. É a respeito do caso investigado pela Delegacia de Polícia de \_\_\_\_\_, no dia \_\_ de \_\_ de 20\_\_.
2. Na impossibilidade do comparecimento do menor ou seu responsável, devido a doença, ausência ou outros, favor entrar em contato com o Oficial do Tribunal de Justiça de Família encarregado deste caso, e comunicar o fato.
3. Deverá trazer \_\_\_\_\_, sem falta, no dia marcado.

Tribunal de Justiça de Família

Tel (rep) : \_\_\_\_\_

Ramal \_\_\_\_\_

書式 6 同行状（緊急）

平成 年 (少) 第 号	執行指揮印
<h2 style="margin: 0;">同行状（緊急）</h2>	
少年 _____ 年 _____ 月 _____ 日生	
住居 _____	
<p>上記少年の _____ 保護事件について、下記の理由により、少年を当裁判所へ同行する。</p> <p style="text-align: center;">有効期間 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 まで</p> <p style="text-align: center;">この令状は上記期間経過後はその執行に着手することができない。 この場合には本令状を裁判所へ返還しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁 判 官</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>(審判に付すべき事由) _____ 別紙記載のとおり  (緊急同行状を発付する理由) _____ 別紙記載のとおり  (適条) _____ 少年法 12 条 1 項  (参考)</p> <p>1 予想される少年の立ち回り先 _____</p> <p>2 本同行状は、 _____ 警察署宛に発付</p>	
執行した日時	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分
執行した場所	
執行することができなかったときはその理由	_____
所 属 ・ 官 職	氏名 _____ 印 _____
同行された日時 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分	
裁判所書記官	



書式 7 観護措置通知書

平成 年 少年第 号 保 護 事 件

観護措置通知書

殿

少年

年 月 日生

上記少年に対する保護事件について、審判を行うための必要上、少年は、平成 年 月 日 少年鑑別所に収容されたから通知する。

平成 年 月 日

家 庭 裁 判 所

裁 判 所 書 記 官

Formulário 7: Notificação da Medida de Detenção Protetiva  
de Menor Infrator

20\_\_\_\_ Sho Nº. \_\_\_\_\_

Caso \_\_\_\_\_ com proteção ao menor infrator

**NOTIFICAÇÃO DA MEDIDA DE DETENÇÃO**  
**PROTETIVA**

A \_\_\_\_\_

Nome do Menor: \_\_\_\_\_

Data de Nascimento: \_\_\_\_ de \_\_\_\_ de 20\_\_\_\_

Notificamos que o menor acima mencionado pelo caso com proteção ao menor infrator que lhe concerne, foi recolhido no dia \_\_\_\_\_ de \_\_\_\_\_ de 20\_\_\_\_, na Casa de Classificação dos Menores \_\_\_\_\_, para proceder a Audiência do Tribunal de Justiça de Família.

Data : \_\_\_\_ de \_\_\_\_ de 20\_\_\_\_

Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_

Escrivão Judicial \_\_\_\_\_



平成

年(少)第

号

# 付添人選任届

家庭裁判所 御中

少年

に対する

保護事件について

弁護士

を付添人に選任いたしましたから連署の上お

届けいたします。

平成 年 月 日

選任者(少年保護者)

付添人住所

付添人

(注) 選任者( )内は該当するものに○印をつける。

Formulário 8 : Comunicado de Designação do Defensor

20\_\_\_\_\_ Sho Nº. \_\_\_\_\_

**COMUNICADO DE DESIGNAÇÃO DO**  
**DEFENSOR**

Ao Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_

Comunicamos que foi designado para defensor do caso de \_\_\_\_\_ o advogado \_\_\_\_\_, que subscreve e assina junto ao menor \_\_\_\_\_.

Data : \_\_\_\_\_ de \_\_\_\_\_ de 20\_\_\_\_\_

Designador (menor/responsável): \_\_\_\_\_

Endereço do Defensor: \_\_\_\_\_

Defensor: \_\_\_\_\_

(Atenção) O designador deve assinalar uma das palavras correspondentes que está entre parêntesis.

書式 9 付添人選任に関する通知及び照会

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する通知及び照会

少年 殿

保護事件名

あなたの事件では, 慎重に手続きを進めるため, 弁護士である付添人がいなければ審判できません。

あなたやあなたの家族が弁護士である付添人を選任しないときは, 裁判所が弁護士である付添人を選任します。

そこで, 同封した回答書に答えて書いて, 月 日までに 家庭裁判所に着くように送ってください。あなたが少年鑑別所にいるときは, 鑑別所の先生に渡してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所 (担当者 )

電話 内線 番

## Formulário 9 : Notificação e Referência sobre Designação do Defensor

(Parágrafo 1 de sessão 3 do artigo 22 d e Lei e parágrafo 1 de sessão 3 do artigo 30 do Regulamento)

20\_\_\_\_ Sho Nº\_\_\_\_

### NOTIFICAÇÃO E REFERÊNCIA SOBRE DESIGNAÇÃO DO DEFENSOR

Ao menor\_\_\_\_\_

Nome do caso com proteção ao menor infrator

\_\_\_\_\_

A fim de um procedimento prudente do seu caso, há necessidade de um Defensor que vem a ser um advogado, na abertura de sessão de audiência.

Na não designação de um Defensor por sua parte ou por seus familiares, o Tribunal irá designar um Defensor (advogado).

Assim pedimos para preencher o formulário de resposta anexo e remeter ao Tribunal de Justiça de Família de\_\_\_\_\_, até o dia \_\_\_\_\_de \_\_\_\_\_.

Caso esteja na Casa de Classificação dos Menores, entregue-o ao professor da Casa.

Data : \_\_\_\_\_ de \_\_\_\_\_ de 20\_\_\_\_\_

Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_(responsável\_\_\_\_\_)

Tel : \_\_\_\_\_ ramal ( \_\_\_\_\_ )

書式 10 付添人選任に関する回答書

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する回答書

家庭裁判所 御中

保護事件について, 次のとおり回答します。

※ レ印を付けてください。

- 私か私の家族が弁護士である付添人をつけます  
付添人の名前は, ( 弁護士会) です。  
(分かれば書いてください。)
- 裁判所で弁護士である付添人をつけてください。

平成 年 月 日

少年 印

## Formulário 10: Resposta sobre a Designação do Defensor

(Parágrafo 1 de sessão 3 do artigo 22 da Lei e parágrafo 1 de sessão 3 do artigo 30 do Regulamento)

20\_\_\_\_ Sho Nº\_\_\_\_\_

### **RESPOSTA SOBRE A DESIGNAÇÃO DO DEFENSOR**

Ao Tribunal de Justiça de Família\_\_\_\_\_

Irei responder como a seguir sobre o caso com proteção \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ ao menor infrator\_\_\_\_\_.

※ Assinale com ✓.

- Eu ou a minha família irá designar o Defensor (advogado), cujo nome é \_\_\_\_\_ (da Associação de Advogados de \_\_\_\_\_) (descreva o nome, se souber).
- Peço para o Tribunal designar um Defensor.

Data : \_\_\_\_ de \_\_\_\_ de 20\_\_\_\_

Nome do menor \_\_\_\_\_ carimbo

書式 11 決定通知書（審判不開始決定）

決 定 通 知 書

少 年 殿

(保護者) 殿

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

少年に対する平成 年少第 号 保護事件について  
は、調査の結果、本日 裁判官の決定により少年法第 19 条 1 項を適用し、こ  
の事件については審判を開始しないで事件を終わらせることになりました。

この決定は、少年自身の自覚により再非行のないことを期待して行われたものですから再  
び過ちを犯さないよう心がけてください。

Formulário 11 : Notificação da Decisão (Decisão de Encerramento sem Audiência)

**NOTIFICAÇÃO DA DECISÃO (DECISÃO DE ENCERRAMENTO SEM AUDIÊNCIA)**

Ao Menor : \_\_\_\_\_

Ao Responsável : \_\_\_\_\_

Data : \_\_\_\_\_ de \_\_\_\_\_ de 20\_\_\_\_\_

Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_

Escrivão Judicial \_\_\_\_\_

Pelos resultados da investigação do caso, Sho Nº \_\_\_\_\_ do ano 20\_\_ que concerne ao menor acima mencionado, pela decisão do juiz \_\_\_\_\_, de acordo com o parágrafo 1 do artigo 19 da Lei de Menores, o Tribunal de Justiça de Família decidiu hoje encerrar a causa sem audiência.

Tal deliberação foi tomada tendo em vista a recuperação do menor pela sua própria vontade, a quem depositamos a esperança de não mais reincidir na infração. Solicitamos não cometer contravenção penal no futuro.





## Formulário 12 : Convocação de Testemunha

20\_\_\_\_\_ Sho Nº. \_\_\_\_\_

### CONVOCAÇÃO DE TESTEMUNHA

À Testemunha: \_\_\_\_\_

Menor : \_\_\_\_\_

Convocamos a testemunha para interrogatório sobre o caso \_\_\_\_\_ com proteção ao menor infrator acima mencionado, e solicitamos seu comparecimento neste Tribunal, sala de Audiência de menores (no \_\_\_ andar), no dia \_\_\_\_\_ de \_\_\_\_\_ vindouro, às \_\_\_\_\_ horas (da manhã/da tarde).

Date: \_\_\_\_\_ de \_\_\_\_\_ de 20 \_\_\_\_\_

Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_

Juiz : \_\_\_\_\_

#### Atenção :

1. Ao comparecer, deverá trazer o seu carimbo e entregar esta Convocação. No dia do comparecimento, poderá requerer a diária e reembolso dos gastos de condução.
2. O não comparecimento sem justificação poderá provocar, dependendo do caso, a intimação, multa de 1.000 ienes a 10.000 ienes ou multa acima de 10.000 ienes, ou detenção.

書式 13 証人等整理票

家庭裁判所

証人等整理票		平成	年	月	日
氏名	印	事件番号	年少第	号	
年齢	年号を○で囲んでください。 昭和 年 月 日生 ( 年) 大正 明治	事件名			
職業		少年氏名			
住居		備考			該当するものを○で囲んでください。 証人 参考人 通訳人 鑑定人 その他 ( )
旅費日当	いずれかを○で囲んでください。 請求する 請求しない				

- (注) 1 出頭された方は、この整理票に記入の上、係事務官に提出してください。  
2 この整理票は、旅費日当請求書の資料あるいは旅費日当の放棄書として使用しますので、正確に記入してください。

## Formulário 13 : Ficha de Testemunha

Tribunal de Justiça de Família \_\_\_\_\_

FICHA DE TESTEMUNHA			
Data : _____ de _____ de 20_____			
Nome	Carimbo	Nº do Caso	20____ Sho Nº. _____
Idade	Data de Nascimento : ____ de ____ de ____ (idade: ____ anos)	Nome do caso	
		Nome do menor	
Profissão			
Endereço		Observação	Circunde a sua categoria
Despesas de condução e diárias	Circunde uma das alternativas :  Vou requerer Não vou requerer		Testemunha Testemunha informante Intérprete Perito Outros (                    )

Atenção :

1. Ao comparecer no Tribunal, favor preencher esta ficha e apresentar ao Oficial Secretário encarregado (funcionário do Tribunal).
2. Esta ficha será utilizada como referência para a solicitação ou renúncia das despesas de condução ou diária, portanto, queira preencher corretamente.

## 宣 誓 書

良<sup>り</sup>心<sup>ょう</sup>に<sup>しん</sup>従<sup>したが</sup>って、ほんとうの<sup>もう</sup>ことを申<sup>もう</sup>します。

知<sup>し</sup>っていることをかくしたり、無<sup>な</sup>いことを

申<sup>もう</sup>したりなど、決<sup>けつ</sup>して致<sup>いた</sup>しません。

以<sup>い</sup>上<sup>じょう</sup>のとおり誓<sup>ちか</sup>います。

しやうにん

証 人

Formulário 14 : Juramento

## JURAMENTO

Juro, em conformidade com a minha consciência, em dizer a verdade, de não ocultar qualquer dos fatos e de não incorrer em falso testemunho.

Testemunha : \_\_\_\_\_

## 書式 15 通報の要請に関する照会

### 通報の要請に関する照会

あなたは、国民として領事関係に関  
するウィーン条約第 36 項第 1 項 (b) の規定に基づき、拘禁された事実を  
の領事機関に通報することを要請することが  
できます。

要請するかどうかを回答書に記入してください。

なお、当該領事機関に対しては、我が国の法令に反しない限り、信書を発  
することができます。

裁 判 所

---

回 答

通報することを  要請します。  
 要請しません。

年            月            日

国            名

被拘禁者氏名

裁判所

御中

(注) 不用の文字を抹消すること。

Formulário 15 : Requerimento de Notificação ao Consulado

## REQUERIMENTO DE NOTIFICAÇÃO AO CONSULADO

Conforme (b) de parágrafo 1 de sessão 1 do artigo 36 do Tratado de Viena sobre as Relações Consulares, você, como cidadão \_\_\_\_\_, poderá solicitar ao Tribunal a notificação de que está sob custódia, ao consulado \_\_\_\_\_.

Queira preencher o formulário abaixo, indicando se deseja ou não notificar ao Consulado.

Poderá também enviar uma carta ao Consulado em questão, desde que não infrinja as leis e regulamentos de nosso país.

Tribunal de Justiça

---

### Resposta

A indicação deve ser feita APAGANDO ou RISCANDO a palavra que NÃO corresponda ao que você deseja.

Sobre a NOTIFICAÇÃO -- SOLICITO  
NÃO SOLICITO

Date: \_\_\_\_\_ de \_\_\_\_\_ de 20\_\_\_\_

Nome de país : \_\_\_\_\_

Nome de pessoa sob custódia : \_\_\_\_\_

Ao Tribunal de Justiça \_\_\_\_\_



## 第4編 用語の対訳

### 第1 法律関係用語

〔あ行〕	〔あ行〕
アリバイ	álibi
異議審	audiência de contestação
異議申立て	solicitação de contestação
意見聴取	audição de opinião
意見陳述	declaração de opinião
移送	transferência, deslocamento
移送決定	ordem de transferência
一時停止	suspensão temporária
一事不再理の効力	eficácia da coisa julgada (res judicata) ; princípio de direito que não admite que a mesma questão, considerada irretratável, venha a ser ventilada novamente.
一般事件	caso comum, corrente, ordinário
一般遵守事項	preceitos regulamentares ordinários a serem seguidos
一般短期処遇	regime ordinário a curto prazo
一般保護観察	liberdade assistida ordinária
一般保護事件	vara da infância e juventude
居直り強盗	um ladrão que se torna violento (por ter sido descoberto ou por acontecer algo inesperado)
違法収集証拠	prova ilícita
違法性	ilegalidade
違法性阻却事由	causa justificável; fato (coisa) que anula a ilegalidade da justificação
院外委嘱指導	orientação ao menor infrator fora do reformatório, em forma de deixá-lo sob tutela de assistente voluntário responsável
因果関係	causa e efeito (relação de causa e efeito)
淫行	lascíva, obscenidade, intercurso ilícito
引致	prisão, captura
引致状	autorização de prisão, autorização de detenção
インターク	entrada, admissão
インターク基準	normas de entrada ou admissão
営利の目的	locupletamento ilícito ou enriquecimento ilícito

閲覧	inspeção, exame, leitura atenta
援助	assistência, auxílio, ajuda
押印	carimbo
押収	apreensão
押収物	artigo apreendido
〔か行〕	〔か行〕
蓋然的心証	presunção de veracidade
回避	abstenção, recusa de julgamento
回付	retorno dos autos à instância anterior
開放的な処遇	regime aberto
確信の程度の心証	verossimilhança
確信犯	crime fanático
覚せい剤	droga estimulante, tóxicos
過失	negligência, desleixo, incúria e omissão
過失犯	crime culposos : crime involuntário
過剰避難	prevenção contra um perigo iminente com uso de força excessiva
過剰防衛	excesso de legítima defesa
学校照会	indagação à escola ou estabelecimentos educacionais
学校照会書	carta de indagação à escola
仮釈放	sursis
仮収容	detenção provisória
仮退院	livramento condicional do reformatório
簡易送致	envio sumário da causa sem formalidades
簡易の呼出	convocação sumária
管轄	jurisdição, comarca
環境調整	ajustamento ambiental
環境調整の措置	medidas de ajustamento ambiental
環境調整命令	ordem referente ao ajustamento ambiental
勧告	advertência, recomendação, admoção
観護措置	medida de recolhimento na Casa de Classificação de Menores
観護措置決定	fundação casa
観護令状	ordem de recolhimento na Casa de Classificação

觀察	supervisão, vigilância
鑑定	exame pericial, perícia
鑑定人	perito
鑑定留置	confinamento judicial para perícia
還付	devolução
鑑別結果	resultado da classificação de menores
鑑別結果通知書	notificação do resultado da classificação de menores
期間	período, prazo
棄却	rejeição, recusa
危険性の予測	previsão de periculosidade, propensão (do menor) para o mal
期日	data, data fixada
既遂	exaurimento
偽造	falsificação, imitação
既判力	res judicata (coisa julgada), objeto ou artigo definido por julgamento
忌避	impugnação, recusa
却下	recusa, rejeição, inadmissão
凶悪犯	infrator de crime ou delito de natureza grave
教科教育	educação escolar
教科指導	orientação escolar
凶器	arma
教唆	incitar, induzir, encorajar
矯正教育	educação correcional
強制送還	deportação
強制退去	deportação, banimento compulsória
強制調査	investigação compulsória
強制的措置	medida compulsória
強制的措置許可決定	decisão de autorizar medida compulsória
強制的措置不許可決定	decisão de não autorizar medida compulsória
共犯	cumplicidade
共犯者	cúmplice, co-autor
共謀	conspiração, conluio, trama
協力	colaboração
居所	residência, moradia

緊急同行状	ordem de apresentação urgente sob escolta
緊急避難	fuga de emergência, buscar refúgio contra um perigo iminente
禁制品	objetos proibidos
国親	parents patriae (o país como tutor do menor)
国親思想	parents patriae (o princípio do país ser o tutor do menor)
◇犯	propensão (do menor) ao crime, pré-delinquência
◇犯事由	atos anteriores relevantes da pré-delinquência : má conduta que revela propensão ao crime
◇犯少年	menor propenso ao crime
◇犯性	pré-delinquência : propensão ao crime
訓戒	admoestação, repreensão, advertência
刑事事件	caso criminal
刑事施設	Instituição Penal
刑事処分相当	próprio para as disposições criminais
刑事責任年齢	maioridade penal
軽微事件	caso secundário ; caso de menor importância
刑法犯	fato típico ou tipo penal
決定	decisão, ordem, despacho, deliberação
決定書	despacho, documento de decisão
決定書の送達	envio (remessa) do despacho ao seu destino
決定の執行	execução de sentença
決定の通知	comunicação da decisão (ordem)
検察官関与決定	decisão de participação do promotor público
検察官送致決定	decisão de envio da causa ao promotor
検証	apuração de um fato, inspeção (da cena do crime)
故意	dolo
合議体	colegiado
公共の福祉	bem estar público
拘禁	aprisionamento (sem trabalho forçado)
後見人	tutor, guarda, mandatário legal do menor tutelado
抗告	apelação, recurso
抗告受理決定	decisão acerca do recebimento da apelação

抗告受理の申立て	requerimento acerca do recebimento da apelação
抗告審	tribunal “ad quem”
抗告の趣意	razões da apelação
抗告の申立て	pedido de apelação
抗告の申立書	razões da apelação na forma escrita
抗告不受理決定	decisão de negatória
更新	renovação
更新決定	ordem de renovação
更生	reabilitação
更正	retificação
更正決定	decisão de retificação
公訴	instauração de processo, denúncia, ação pública
公訴の提起	instaurar um processo, submeter à ação pública
交通事件	caso do trânsito
交通切符	bilhete de trânsito
交通切符制度	sistema de bilhete de trânsito
交通短期保護観察	supervisão assistencial a curto prazo do infrator menor da lei de trânsito
交通反則通告制度	sistema de notificação dos infratores das leis de trânsito
交通保護観察	supervisão assistencial do menor infrator das leis de trânsito
勾留	detenção
勾留状	ordem, autorização de detenção
勾留に代わる観護措置	medida de recolhimento na Casa de Classificação de Menores substituindo a prisão
勾留理由開示	auto de exibição
国籍	nacionalidade
国選付添人	defensor público
国選弁護人	defensor designado pelo Tribunal
告知	comunicação, notificação, aviso, informação
告知調書	registro, declaração oficial escrito de comunicação
国法上の裁判所	tribunal na acepção da Lei Estatal
国家賠償	indenização governamental
個別処遇の原則	princípio do regime individual

〔さ行〕	〔さ行〕
在院者	o interno
再抗告	nova apelação
再審	reabertura do processo
在宅鑑別	classificação do menor no próprio lar
裁判官の回避	abstenção de julgamento ; abster o juiz de proferir sua decisão
裁判権	jurisdição ; poder de julgar de um juiz
裁判長	juiz presidente
酒酔い	embriaguez ; embriagado(a)
差戻し	tribunal “a quo”
差戻後の審判	julgamento (novo julgamento) de um caso devolvido
参考人	testemunha/informante
事案軽微	crime subsidiário
死刑	pena de morte ; pena capital
試験観察	observação experimental
試験観察決定	ordem de observação experimental
事件記録	registro de caso
事件の再起	repetição do caso
事件の調査	investigação do caso
事後審	exame de sentença ; julgamento ex post facto
事実審理の結果	resultado da apuração dos fatos
自首	entregar-se às autoridades
施設送致申請	solicitação para enviar à Instituição
施設送致申請事件	caso de solicitação para enviar à Instituição
私選付添人	constituente particular / patrono
執行	execução ; cumprimento de sentença
執行機関	órgão que executa a sanção aplicada
執行指揮	ordem de execução da sanção
執行指揮書	autorização (por escrito) da ordem de execução da sanção
執行のための同行状	ordem de apresentação do menor para execução da sanção
執行の停止	interrupção da execução da sanção, suspensão

指導監督	temporária da sanção
児童自立支援施設送致決定	orientação e supervisão
	decisão de envio à Instituição de Apoio para Desenvolvimento de Capacidade de Autossustento
児童相談所長への送致決定	decisão de enviar o caso ao diretor do Centro de Orientação dos Problemas Infantis
児童養護施設送致決定	decisão de envio à Instituição de Assistência aos Menores
自白	confissão
司法	justiça
司法的機能	função judicial
社会記録	registro social
社会貢献活動	atividade voluntária à sociedade
社会資源	recursos sociais
社会適応性	ajustamento ou adaptação do indivíduo ao meio social
社会生活	vida social
社会内処遇	regime dado ao indivíduo pelo meio social
社会調査	pesquisa do meio social
社会防衛	defesa social
社会防衛思想	ideias de defesa social
終局処分	determinação final, deliberação definitiva
住居	residência, domicílio
住所	endereço
自由心証主義	princípio da livre persuasão racional do juiz
重大な事実誤認	erro, engano grave na apuração dos fatos
集団講習	ensinamento (treinamento) em grupo
集団処遇	regime em grupo
收容区分	classificação da detenção
收容継続	continuação da detenção
收容継続決定	decisão de continuar sob custódia
收容継続申請	requisição de continuar sob custódia
收容継続申請事件	caso referente à requisição de continuar sob custódia
受命裁判官	juiz designado

準抗告	agravo de instrumento
遵守事項	normas (condições) a serem obedecidas ; regulamentos
遵守事項違反	violação (infração) às normas a serem obedecidas
準少年保護事件	coautoria
証言	testemunho ; testificação ; depoimento
証拠	prova, evidência
証拠調べ	exame (averiguação) de evidência
証拠法則	regras da evidência
小舎制	sistema de grupos pequenos de menores recolhidos na mesma casa
証人	testemunha
証人尋問	exames de testemunha
証人尋問権	direito de interrogar a testemunha
証人等の費用	custas processuais
少年	menor
少年院送致	envio do menor ao Reformatório
少年院送致決定	decisão de envio do menor ao Reformatório
少年鑑別所収容の一時継続	continuação temporária do recolhimento de Casa de Classificação de Menores
少年審判	processo ou julgamento de menores
少年審判手続	trâmites (formalidades) para processo de menores
少年調査記録	registro oficial dos dados do menor contraventor
少年調査票	formulário do registro oficial dos dados do menor contraventor
少年の刑事事件	caso criminal cometido por menor
少年の健全な育成	educação saudável do menor
少年の保護事件	caso de menor ; caso de custódia
少年非行	delinquência do menor ; contração do menor
少年保護事件	caso de menor ; caso de custódia
少年補償	indenização relativa ao menor
少年補償事件	caso de indenização relativa ao menor
抄本	cópia parcial
証明書	certificado



処遇勧告	recomendação ao regime
職業指導	orientação vocacional ; orientação profissional
職業補導	orientação e treinamento vocacional
職権主義	princípio do poder oficial ; princípio do ex officio
職権主義的審問構造	sistema em que o Tribunal dirige as inquirições e audiência
触法少年	menor de menos de 14 anos que alega ter violado uma lei ou disposição criminal ; menor infrator
所在不明	local incerto e não sabido
除斥	suspeição do juiz
処断刑	pena-base aplicada a cada caso em particular ; pena que pode ser comutada ou agravada por lei ou por circunstâncias atenuantes
処分の著しい不当	impropriedade relevante das medidas educativas
親権	a guarda
親権行使	exercício do pátrio poder
親権尊重	respeito ao pátrio poder
人権尊重	respeito aos direitos humanos
人権保護	proteção dos direitos dos humanos
人権保障	garantia dos direitos dos humanos
身上調査表	registro dos dados pessoais
心身鑑別	exame físico e mental
身体の自由の拘束	restrição da liberdade física
人定質問	perguntas ao réu para identificação
審判	audiência ; julgamento
審判開始決定	ordem de iniciar a audiência ; ordem de instaurar processo
審判権	direito à audiência
審判不開始決定	decisão de encerramento sem audiência
審判期日	designação de audiência
審判期日通知書	notificação de data da audiência
審判結果通知	notificação do resultado da audiência
審判条件	condições da audiência
審判状況説明	explicação sobre andamento da audiência
審判調書	auto da audiência
審判廷	tribunal ; sede do juízo

審判に付すべき少年	o menor em juízo
審判の併合	conjunção da audiência
審判非公開	audiência em segredo de justiça
審判傍聴	assistir audiência
性格の矯正	correção do caráter
生活指導	orientação do menor
成人	adulto ; maior
正当防衛	legítima defesa
正本	cópia autenticada
責任	responsabilidade, encargo; culpabilidade
責任能力	capacidade (jurídica ou civil) ; imputabilidade
接見交通権	direito de comunicação ou visitar ao preso ou detento
接見の禁止	incomunicabilidade ; vedada a comunicação ou visita ao preso ou detento
接見の制限	incomunicabilidade relativa ; restrição na comunicação ou visita ao preso ou detento
宣誓	juramento
専門的知識の活用	utilização de conhecimentos técnicos ou especializados
全件送致主義	sistema de enviar os casos de menor ao Tribunal de Justiça de Família
捜査	investigação ; indagação ; pesquisa
捜査機関	órgão de investigação
捜索	busca , procura
送致	envio; ato de encaminhar
訴訟法上の裁判所	tribunal na acepção do direito processual
粗暴犯	crime violento
損害	dano, prejuízo
損害賠償	indenização; compensação de danos ou prejuízos
〔た行〕	〔た行〕
体育指導	orientação na educação física
退院	saída do Reformatório
逮捕	prisão, detenção
知事への送致決定	decisão de envio da causa ao Governador

中間少年	o menor “médio” ; adolescente de 16 a 17 anos da idade
長期の処遇	regime a longo prazo
調査	investigação, indagação, averiguação
調査官	Oficial de Tribunal de Justiça de Família
調査命令	ordem de investigação
調査報告書	relatório dos resultados da investigação
直送事件	caso encaminhado diretamente do Tribunal de Justiça de Família
陳述録取書	registro da declaração
陳述録取調書	relatório do registro da declaração
通行禁止	proibido a passagem ; passagem interdita
通行区分	separação de passagem
通告	notificação, comunicação
通訳	tradução ; interpretação
通訳人	Intérprete
付添人	defensor
付添人の選任	designação (nomeação) do defensor
連戻し	conduzir (o menor) de volta ao lar
連戻状	ordem de condução do menor ao lar
適正手続	procedimento razoável
伝聞証拠	testemunho auricular ; prova por ouvir dizer
伝聞法則	lei da denúncia
同行	apresentação sob escolta
同行状	ordem de apresentação sob escolta
動向視察	inspeção do menor em fase de experiência
謄写	cópia
謄本	transcrição, duplicata, cópia autenticada
道路交通事件	caso sobre trânsito
特別活動指導	início da atividade especial
特別遵守事項	preceitos regulamentares especiais a serem seguidos
特別法犯	crime de uma lei especial
[な行]	[な行]
任意調査	investigação voluntária

任意同行	acompanhamento voluntário
年少少年	o menor entre 14 a 15 anos
年長少年	o menor entre 18 a 19 anos
年齢超過	já em idade adulta ; maior
〔は行〕	〔は行〕
犯罪	crime, transgressão, contravenção
犯罪少年	menor infrator
犯罪の嫌疑	suspeita, indício de crime
反対尋問	contra-interrogatório; exame cruzado
反対尋問権	direito a contra-interrogatório
被害者	vítima
被害者調査	investigação da vítima
非行	delinquência ; delito
非行事実	fatos da delinquência
非行事実存在の蓋然性	probabilidade de haver fatos de delinquência
非行事実の告知	denúncia (notificação) dos fatos de delinquência
非行事実の認否	aprovação ou desaprovação dos fatos da delinquência
非行性	tendência à delinquência (má conduta)
非行なし	sem comportamento delinquente
非常上告	apelação extra ordinária
否認	negação
否認事件	caso de negação
秘密性	sigilidade
不告不理の原則	princípio da não adjucação sem instalação do processo
不処分	encerramento da demanda sem condenação
不処分決定	decisão de encerramento da demanda
不定期刑	sentença indeterminada
不服申立て	inclusão de objeção
不利益変更禁止	proibição de mudança desvantajosa no acusado
分類処遇	regime classificatório
併合審判	audiência conjunta
弁解	alegações, justificação, explicação
弁解の聴取	depoimento pessoal

変更の申出	pedido de modificação
弁護士	advogado
弁護人	defensor, advogado de defesa
保安処分	medida de segurança
報告	relatório, exposição escrita de um fato
法廷遵守事項	preceitos estabelecidos em estatuto
法定代理人	representante legal
法的調査	investigação legal
法律記録	registro legal
保護観察	liberdade assistida ; supervisão do menor infrator cuja pena foi suspensa sob condições
保護者	o responsável, o protetor, tutor
保護処分	medida sócio-educativa
保護処分取消決定	decisão de anulação da medida sócio-educativa
保護処分取消事件	caso de anulação da medida sócio-educativa
保護処分の競合	concorrência da medida sócio-educativa
保護処分の取消し	anulação da medida sócio-educativa
教育的措置(保護的措置)	medida educativa (protetiva) ao menor
没取	confiscação, apreensão
没取決定	ordem de confiscação
没取に係る物の返付	devolução dos objetos apreendidos (despojados)
補充捜査	investigação suplementar
補償の払渡し	pagamento da garantia
補導委託	incumbência de orientação de menor (infrator) ; encarregar (alguém) de atender a educação do menor
補導委託先	instituição (escola) encarregada da orientação do menor
補導委託費	despesas da orientação do menor
補導援護	orientação e amparo ; orientação e assistência
本籍照会	indagação a respeito do domicílio permanente
本籍照会書	carta de referência sobre domicílio permanente
翻訳	tradução
翻訳人	tradutor
〔ま行〕	〔ま行〕

身柄付送致 みなし勾留	envio do caso à vara da infância juventude suposta detenção ; caso em que o menor infrator é considerado detido na Casa de Classificação dos Menores
無職の者	desempregado, inativo
無断外出	saida sem autorização
面前告知	comunicação na presença do menor
申出	declaração
申出人	declarante
黙秘権	direito de permanecer calado
黙秘権の告知	notificação do direito de permanecer calado
戻し収容	tornar a recolher na prisão ; reaprisionamento
戻し収容決定	decisão de reaprisionamento
戻し収容処分	pena de reaprisionamento
戻し収容申請事件	caso de requisição de reaprisionamento
[や行]	[や行]
有職の者	pessoa empregada ; pessoa com atividade profissional
有責性	culpabilidade
要保護性	necessidade de medidas de proteção
余罪	outros crimes não julgados
余罪捜査	investigação dos outros crimes não julgados
呼出	convocação, chamada, citação
呼出状	ordem de convocação
[ら行]	[ら行]
留置施設	Centro de detenção provisória
労役場留置	detenção com trabalho forçado

## 第2 調査関係用語

〔あ行〕

家出

居心地

遺伝

姻族

〔あ行〕

deixar o lar, fuga de casa, abandono do lar

sentir-se (bem ou mal) no lar

hereditariedade

aparentados por afinidade

〔か行〕

カウンセリング

家族関係

家長

家庭内暴力

義務教育

虐待

血族

高等学校(高校)

行動傾向

公立

危険ドラッグ(脱法ハーブ)

〔か行〕

consulta a psicólogos

relações familiares

chefe de família

violência doméstica

ensino obrigatório

maus tratos, crueldade

parentesco

ensino médio

tendência do comportamento

público

drogas perigosas (cannabis ilegais)

〔さ行〕

しつけ

社会奉仕活動

照会書

小学校

上司

職種

私立

信条

親族

心理テスト

住込み

生活史

生活費

成績

〔さ行〕

disciplina, educação, modos

atividade voluntária à sociedade

carta da referência

escola primária

superior, chefe

tipo de ocupação, profissão

particular

crença, fé

parentes, colaterais

teste psicológico

morar (no emprego), residência conjunta

biografia, história de cada um

despesas de subsistência

ficha de aproveitamento, resultado

性的虐待  
生理  
専門学校  
送金  
相談相手

abuso sexual  
menstruação  
escola especializada  
remessa de dinheiro  
conselheiro, consultor

〔た行〕

退学  
大学  
怠休  
短所  
中学校  
長所  
通勤  
手続  
手取り  
転居  
転校  
転職  
動機  
同棲  
同僚  
特技

〔た行〕

vasão escolar  
universidade  
falta por ociosidade  
defeitos, ponto fraco  
ensino fundamental  
qualidades, virtudes  
(caminho) de ida e volta do serviço  
procedimento, trâmite, formalidades  
ganho líquido  
mudança de residência  
mudança de escola  
mudança de emprego, transferência  
motivo, razão  
coabitação, concubinato  
colega  
habilidade especial

〔な行〕

仲  
肉体関係  
入学

〔な行〕

relação, relacionamento  
relações carnis  
entrada na escola, ingresso na escola

〔は行〕

配偶者  
背景  
売春  
父系  
不純異性交遊

〔は行〕

cônjuge  
base, antecedentes (de um fato ou de situação)  
prostituição  
linhagem paterna  
promiscuidade, más companhias (masculinas e femininas)



扶養	sustento, subsistência
扶養家族	dependente(s)
保育所	creche
母系	linhagem materna
〔ま行〕	〔ま行〕
身元引受人	fiador, responsável
面接	entrevista, visita
〔や行〕	〔や行〕
役割	parte, papel, função
幼少	infância
幼稚園	ensino infantil
〔ら行〕	〔ら行〕
離婚	divórcio
労働条件	condições de trabalho

### 第3 官庁等諸機関名

〔あ行〕	〔あ行〕
医務室	consultório médico
医務室技官	oficial do posto médico judicial
受付	recepção
〔か行〕	〔か行〕
海上保安庁	Agência de Segurança Marítima
外務省	Ministério das Relações Exteriores
科学調査室	Sessão de Pesquisa Científica
家庭裁判所	Tribunal de Justiça de Família
家庭裁判所支部	Divisão do Tribunal de Justiça de Família
家庭裁判所調査官(調査官)	Oficial Investigador de Tribunal de Justiça de Família
家庭裁判所調査官室	Sala do Oficial Investigador de Tribunal de Justiça de Família
簡易裁判所	Tribunal Sumário
矯正管区	Sede Regional de Correção
矯正管区長	Superintendente da Sede Regional de Correção
矯正局	Departamento Correccional
区	Distrito, Regional
区検察庁	Promotoria Distrital
警察	Polícia
警察官	Policial; agente da polícia
警察署	Delegacia de polícia
警察職員	Escrivão de polícia
警察署の保護室	Sala de custódia da Delegacia de Polícia
警察庁	Agência Nacional da Polícia
警察庁次長	Vice corregedor geral da Agência Nacional da Polícia
警察庁長官	Corregedor Geral da Agência Nacional da Polícia
警視	Superintendente da polícia
警視監	Superintendente supervisor da polícia
警視正	Superintendente da polícia metropolitana

警視總監	Superintendente Geral da polícia metropolitana
警視庁	Departamento da polícia metropolitana
警視長	Superintendente-Chefe da polícia metropolitana
警部	Inspetor policial
警部補	Inspetor policial assistente
刑務官	Diretor da casa da detenção
刑務所	prisão, presídio ; penitenciária
刑務所長	Diretor do centro de detenção (penitenciária)
県	Província
県警察本部	batalhão de polícia
検察	Promotoria
検察官	promotor público
検察事務官	Oficial Assistente da Promotoria Pública
検察庁	Promotoria Pública
検事	promotor público
検事正	Chefe de Gabinete de Promotor Público
検事総長	Promotor Geral da Procuradoria Geral
検事長	Promotor Geral do Gabinete do Procurador de Justiça
公使	Ministro
厚生労働省	Ministério do Trabalho e Saúde
更正保護会	Sociedade de Ajuda da Reabilitação
更正保護婦人会	Sociedade feminina de Ajuda da Reabilitação
拘置所	detenção, prisão, presídio
高等検察庁	Gabinete de Procuradoria Nacional
高等裁判所	Tribunal Superior
高等裁判所長官	Presidente do Tribunal Superior
〔さ行〕	〔さ行〕
最高検察庁	Procuradoria Geral, Procuradoria Geral
最高裁判所	Supremo Tribunal
最高裁判所長官	Ministro Presidente do Supremo Tribunal
最高裁判所裁判官	Juiz do Supremo Tribunal
裁判官	Juiz
裁判所事務官	Oficial Secretário do Tribunal
裁判所書記官	Escrivão Judicial

裁判長	Juiz Presidente
市	Cidade
次長検事	Promotor Adjunto da Promotoria Geral
児童委員	Conselheiro Tutelar
児童自立支援施設	Instituição de Apoio para Desenvolvimento de Capacidade de Autossustento
児童相談所	Conselho tutelar
児童相談所長	Diretor do Centro de Orientação dos Problemas Infantis
児童福祉司	Oficial da Promoção do Bem-Estar Infantil
児童養護施設	Instituição de Assistência aos Menores
司法警察員	Investigador policial
司法警察職員	Escrivão policial
司法巡査	Policial judicial
巡査	Policial, agente policial
巡査長	Chefe Policial
巡査部長	Sargento da polícia
少年院	Escola de Disciplina de Menores : Reformatório Juvenil
少年鑑別所	Casa de Classificação dos Menores
少年刑務所	Penitenciária juvenil
書記官室	Sala de escrivão judicial
人権擁護局	Departamento de Proteção dos Direitos Humanos
審判官	Juiz
審判廷	Sala de Audiência, Sala de Julgamento
税関	Alfândega
[た行]	[た行]
第1種少年院	Reformatório da categoria 1
大使	embaixador(a)
大使館	Embaixada
第3種少年院	Reformatório da categoria 3
第2種少年院	Reformatório da categoria 2
第4種少年院	Reformatório da categoria 4
知事(都道府県知事)	Governador, Governador de Província
地方検察庁	Procuradoria regional

地方検察庁支部	Gabinete da procuradoria regional
地方更正保護委員会	Comissão Regional de Reabilitação
地方裁判所	Tribunal Distrital (Regional)
地方裁判所支部	Gabinete do Tribunal regional
地方法務局	Departamento de Justiça Regional
中央更正保護審査会	Comissão Nacional de Reabilitação
調査官(家庭裁判所調査官)	Oficial investigador de Tribunal de Justiça de Família

〔な行〕

入国管理局	Departamento de Controle de Imigração
入国管理事務所	Gabinete de Controle de Imigração
入国管理局出張所	Posto de Atendimento de Controle de Imigração
入国者収容所	Centro de Detenção da Imigração

〔な行〕

〔は行〕

判事	Juiz
判事補	Juiz Assistente
福祉事務所	Gabinete do Bem-Estar Social
法務技官	Oficial Técnico do Ministério da Justiça
法務教官	Instrutor do Ministério da Justiça
法務省	Ministério da Justiça
保護局	Departamento de Reabilitação
保護観察官	Oficial Supervisor da liberdade assistida
保護観察所	Instituto de supervisão e reabilitação ; gabinete do sursis
保護観察所長	Diretor do Instituto de Supervisão e Reabilitação
保護区	Área de supervisão e reabilitação
保護司	Supervisor voluntário da reabilitação
補導委託先	Instituto encarregado de orientação dos menores contraventores

〔は行〕

〔ら行〕

領事	Cônsul
領事館	Consulado

〔ら行〕

## 第4 法令名

〔あ行〕

あへん法

安保条約

(日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び  
安全保障条約)

医師法

意匠法

医療法

ウィーン条約

(領事関係に関するウィーン条約)

恩赦法

〔か行〕

外国為替及び外国貿易法

外国裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法

海上交通安全法

海上衝突予防法

覚せい剤取締法

家事事件手続規則

家事事件手続法

学校教育法

割賦販売法

火薬類取締法

関税定率法

関税法

警察官職務執行法

警察法

刑事訴訟規則

刑事訴訟費用等に関する法律

刑事訴訟法

〔あ行〕

Legislação de Ópio

Tratado de Segurança (Tratado de Mútua  
Cooperação e Segurança entre o Japão e os  
Estados Unidos da América)

Legislação da prática de medicina

Legislação de proteção da propriedade  
intelectual

Legislação do serviço médico

Tratado de Viena (referente às relações  
consulares)

Lei da Anistia

〔か行〕

Legislação de Câmbio e Comércio Exterior

Legislação para Assistência Judicial junto a  
Tribunal no Exterior

Legislação para Segurança do Tráfego Marítimo

Legislação para Prevenção de Colisão Marítima

Legislação sobre Controle de Drogas e  
Estimulantes

Legislação do Direito de Família

As Ações de Família

Legislação Educacional

Legislação da Venda a Prestações

Legislação de Controle de Artigos Explosivos

Legislação de Direitos Aduaneiros

Legislação Alfandegária

Legislação sobre Prática da Função Policial

Legislação sobre a Polícia

Regras Relativas ao Processo Criminal

Legislação Relativa ao Custo do Processo  
Criminal

Código de Processo Penal

刑事補償規則	Normas de Indenização Criminal
刑事補償法	Legislação sobre Indenização Criminal (legislação para compensar um réu declarado inocente)
競馬法	Legislação sobre Turfe
軽犯罪法	Legislação sobre Ofensa Trivial
刑法	Código Penal
検察審査会法	Legislação sobre Inquérito de Instauração do Processo
検察庁法	Lei orgânica do Ministério Público
憲法 (日本国憲法)	Constituição (Constituição japonesa)
公害罪法 (人の健康に係る公害犯罪の処罰に関する法律)	Legislação sobre Crime de Poluição Ambiental (legislação acerca da condenação dos crimes de poluição que atenta contra saúde dos seres humanos)
航空機の強取等の処罰に関する法律	Legislação referente à Punição da Pirataria Aérea
航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律	Legislação referente à Punição por Risco à Navegação Aérea
更生保護法	Lei sobre Reabilitação Criminal
国際捜査共助法	Legislação sobre Cooperação de Investigação Internacional
国籍法	Legislação de Nacionalidade
戸籍法	Legislação de Registro Familiar
国家賠償法	Legislação sobre a Indenização (reparação) estatal
[さ行]	[さ行]
裁判所法	Legislação da Organização do Tribunal
酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律	Lei de contravenções penais
自転車競技法	Legislação sobre Competição Ciclística
児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律	Punição da Conduta à Prostituição e Pornografia Infantil e outros, e Legislação sobre Proteção à Infância e Juventude
自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律	Homicídio culposo

児童福祉法	Estatuto da criança e adolescente
銃砲刀剣類所持等取締法	Legislação sobre Controle de Posse de Armas de Fogo e Espadas
出入国管理及び難民認定法	Legislação sobre Controle de Imigração e Reconhecimento de Refugiado
少年院法	Legislação sobre Reformatório
少年鑑別所法	Legislação sobre Casa de Classificação de Menores
少年審判規則	Regulamento para Julgamento de Menores
少年の保護事件に係る補償に関する規則 (少年補償規則)	Lei referente à Indenização dos Casos de Menores (regulamento da indenização de menores)
少年の保護事件に係る補償に関する法律 (少年補償法)	Regulamento referente à Indenização dos Casos de Menores (regulamento da Indenização de Menores)
少年法	Lei de Menores
商法	Legislação sobre Atividades Comerciais
職業安定法	Legislação sobre Estabilidade do Emprego
人身保護法	Legislação sobre Habeas Corpus (CF)
新東京国際空港の安全確保に関する緊急措置法	Legislação relacionada com Medidas Emergenciais e de Segurança junto ao Aeroporto Internacional- Shin Tokyo
森林法	Legislação florestal
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	Legislação sobre Bem-Estar dos Deficientes Mentais e Saúde Mental
船員法	Legislação dos Navegantes (marinheiros)
船舶安全法	Legislação sobre Segurança de Embarcações
船舶職員法	Legislação sobre Oficiais de Embarcações Náuticas
船舶法	Legislação sobre Embarcações
組織犯罪処罰法 (組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律)	Lei sobre Punição de Crime Organizado (lei referente à punição de crimes organizados e regulamentos e outros, e de lucros obtidos através de crimes)
[た行]	[た行]



大麻取締法	Legislação sobre Controle de Maconha
著作権法	Legislação de Direitos Autorais
通貨及証券模造取締法	Legislação sobre Falsificação de Moeda Corrente e Certificado de Valor
鉄道営業法	Legislação da Administração do Transporte Ferroviário
電気通信事業法	Legislação sobre Atividades de Telecomunicação
電波法	Legislação de Transmissão de Ondas
盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律	Legislação sobre Prevenção e Punição de Roubo e Latrocínio
逃亡犯罪人引渡法	Lei sobre Extradicação
道路運送車両法	Legislação sobre transportes terrestres
道路交通法	Legislação sobre Trânsito
毒物及び劇物取締法	Legislação sobre Controle de Tóxicos e Venenos Mortíferos
〔な行〕	〔な行〕
日本国憲法	Constituição Japonesa
日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約 (安保条約)	Tratado de Cooperação Mútua e de Segurança entre o Japão e os Estados dos Unidos da América (tratado de segurança)
日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法	Legislação criminal especial referente à presença das forças armadas dos Estados Unidos da América e suas instalações, baseado no art. 6 do tratado de cooperação mútua e de segurança celebrado entre o Japão e os Estados os Unidos da América
日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法	Legislação criminal especial sobre acordo referente à posição do exército das Nações Unidas no Japão
〔は行〕	〔は行〕
売春防止法	Legislação anti prostituição
破壊活動防止法	Legislação de Prevenção de Sabotagem (atividades subversivas )
爆発物取締罰則	Cláusulas Penais sobre Controle de Explosivos

罰金等臨時措置法	Legislação sobre Medidas Temporárias referente à Multa e outros
犯罪捜査規範	Regulamentos da Investigação Criminal
犯罪捜査のための通信傍受に関する法律	Legislação sobre Intercepção na Comunicação para Investigação Criminal
犯罪者被害者等給付金支給法	Legislação sobre concessão de benefício às vítimas criminas; legislação da indenização estatal às vítimas criminais
犯罪被害者等の保護を図るための刑事手続に付随する措置に関する法律	Legislação sobre Medidas Anexas ao Procedimento Penal para Proteção de Vítimas de Crime e outros
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律	Legislação sobre Controle de Negócios que influenciam a moral pública
武器等製造法	Legislação sobre Fabricação de Armas
法廷等の秩序維持に関する法律	Regulamento do Interno dos Tribunais
暴力行為等処罰ニ関スル法律	Lei para Punição de Atos de Violência
保護司法	Legislação referente aos Responsáveis pela Reabilitação dos Menores Infratores
 〔ま行〕	 〔ま行〕
麻薬及び向精神薬取締法	Legislação sobre Controle de Narcóticos e Produtos Psicotrópicos
麻薬及び向精神薬取締法等特例法 (国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律)	Lei de prevenção e repressão ao tráfico ilícito e uso indevido de substâncias entorpecentes (legislação sobre casos especiais de Lei sobre Controle de Narcóticos e Produtos Psicotrópicos para prevenir condutas de incentivo aos atos desonestos relacionadas às drogas regulamentadas, sob cooperação internacional)
未成年者飲酒禁止法	Lei de Proibição de Bebidas Alcolólicas aos Menores
未成年者喫煙禁止法	Lei de proibição de fumar aos Menores
民事訴訟法	Código de Processo Civil
民法	Código Civil
 〔や行〕	 〔や行〕

有線電気通信法  
郵便法

Legislação sobre telecomunicações  
Legislação Postal

〔ら行〕  
領海及び接続水域に関する法律

〔ら行〕  
Legislação sobre Zonas Contíguas e Águas  
Territoriais

領事関係に関するウィーン条約 (ウィーン条約)

Tratado de Viena referente às relações consulares  
(tratado de Viena)

旅券法  
労働基準法

Legislação sobre Passaporte  
Consolidação das leis trabalhistas

## 第5 罪名

〔あ行〕

遺棄罪

遺棄致死傷罪

遺失物等横領罪

威力業務妨害罪

往来危険罪

横領罪

〔あ行〕

Abandono

Abandono resultando em morte ou ferimento corporal

Apropriação de coisa (objeto) achada

Obstrução forçada de negócios

Pôr em risco o tráfego

Apropriação indébita

〔か行〕

覚せい剤取締法違反

過失傷害罪

過失致死罪

過失運転致死傷罪

危険運転致死傷罪

偽証罪

偽造外国通貨行使罪

偽造通貨行使罪

偽造無印公文書行使罪

偽造無印私文書行使罪

偽造有印公文書行使罪

偽造有印私文書行使罪

偽造有価証券行使罪

器物損壊罪

恐喝罪

強制わいせつ罪

〔か行〕

Violação da legislação sobre controle de drogas estimulantes

Lesão corporal através da conduta negligente

Homicídio culposo

Homicídio culposo em virtude de direção veicular

Homicídio doloso em virtude de direção veicular

Perjúrio ; falso testemunho

Uso de moeda corrente estrangeira falsificada

Uso da moeda falsa

Falsidade material do documento público sem carimbo registrado

Falsidade material do documento particular sem carimbo registrado

Falsidade material do documento oficial com carimbo registrado

Falsidade material do documento particular com carimbo registrado

Uso de certidão ou atestado ideologicamente falso

Destruição de propriedade ; danificação dos objetos

extorsão

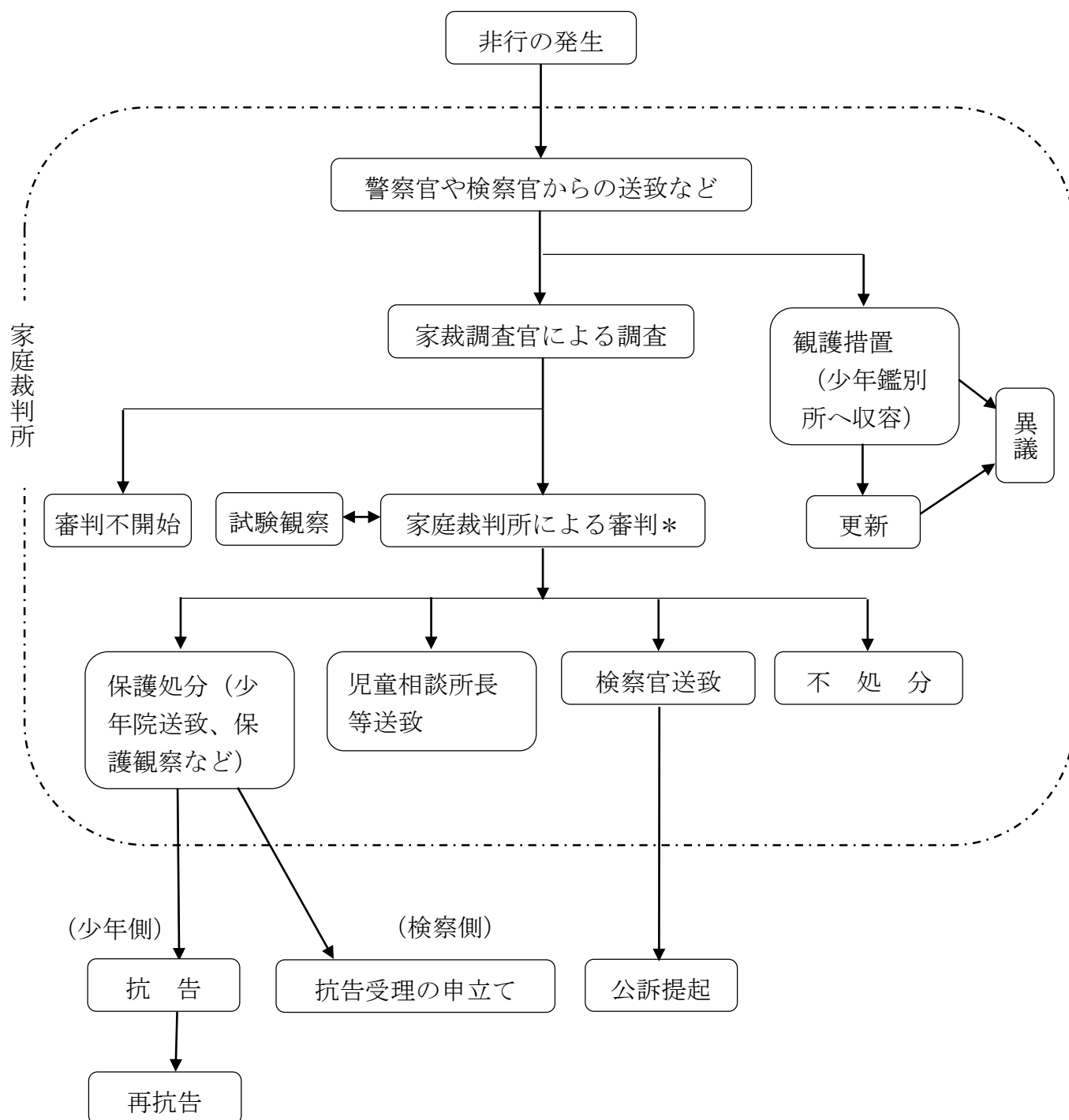
Atentado ao pudor

強制わいせつ致死傷罪	Atentado ao pudor resultando em morte ou ferimento corporal
脅迫罪	Coação (física e moral), ameaça, intimidação
業務上横領罪	Peculato ; apropriação indébita
業務上過失往來危険罪	Perigo ao trânsito através da conduta negligente durante o exercício da função
業務上過失傷害罪	Ferimento corporal através da conduta negligente durante o exercício da função
業務上過失致死罪	Morte através da conduta negligente durante o exercício da função
強要罪	Coação
現住建造物等放火罪	Ateamento de fogo em edifício habitado
建造物等以外放火罪	Ateamento de fogo em objeto não edificado
建造物等延焼罪	Provocação de incêndio em edificações
公印偽造罪	Falsificação de carimbo oficial
公印不正使用罪	Petrechos de falsificação
強姦罪	Estupro, violentação, violação
強姦致死傷罪	Estupro resultando em morte ou ferimento corporal
公正証書原本不実記載罪	Inserção de dados falsos em Sistema de informações
公然わいせつ罪	Atentado público ao pudor, ultraje público ao pudor
強盜強姦罪	Assalto seguido de estupro
強盜強姦致死傷罪	Assalto seguido de estupro resultando em morte e ferimento corporal
強盜罪	Assalto, roubo
強盜致死罪	Assalto resultando em morte ; latrocínio
強盜致傷罪	Assalto resultando em ferimento corporal
強盜予備罪	Preparação do assalto
公用文書毀棄罪	Supressão do documento público
公務執行妨害罪	Obstrução ao cumprimento do dever oficial
昏睡強盜罪	Extorsão indireta
〔さ行〕	〔さ行〕
詐欺罪	Fraude

殺人罪	Homicídio, assassinato
殺人予備罪	Preparação do homicídio
私印偽造罪	Falsificação do carimbo no uso particular
私印不正使用罪	Uso indevido do carimbo particular
死体遺棄罪	Abandono do cadáver
重過失傷害罪	Ferimento corporal qualificado devido à negligência
重過失致死罪	morte culposo
住居侵入罪	Invasão do domicílio
銃砲刀劍類所持等取締法違反	Violação da legislação sobre controle de Posse e outros, de armas de fogo e espadas
傷害罪	Ferimento corporal ; lesão corporal
傷害致死罪	Ferimento corporal resultando em morte
常習賭博罪	Jogo de azar habitual
常習累犯窃盜罪	Furto habitual com convicção prévia
証人威迫罪	Intimidação da testemunha
証拠隠滅罪	Destruição de provas
窃盜罪	Furto
贈賄罪	Corrupção ativa
〔た行〕	〔た行〕
逮捕監禁罪	Extorsão mediante sequestro
逮捕監禁致死傷罪	Detenção e aprisionamento ilegal resultando em lesão corporal e morte
単純逃走罪	Fuga ordinária (fuga não violenta da custódia)
通貨偽造罪	Falsificação de moeda corrente
盜品等無償譲受け罪	Receptação
盜品等有償譲受け罪	Receptação qualificada
道路交通法違反	Violação da lei de trânsito
毒物及び劇物取締法違反	Violação da lei de controle de tóxicos e venenos mortíferos
賭博場開帳罪	Abertura de casas de jogo
賭博罪	Jogo de azar
〔は行〕	〔は行〕
背任罪	Peculato

犯人蔵匿罪	Fuga de pessoa presa ou submetida à medida de segurança
非現住建造物等放火罪	Ateamento de fogo em edifício inabitado
売春防止法違反	Violação da lei anti prostituição
放火罪	Incêndio premeditado
暴行罪	Agressão física ; violência
暴力行為等処罰ニ関スル法律違反	Violação à lei concernente à punição dos atos de violência e outros correlatos
保護責任者遺棄罪	Abandono de incapazes
保護責任者遺棄致死傷罪	Abandono de tutela resultando em morte ou ferimento corporal
[ま行]	[ま行]
麻薬及び向精神薬取締法違反	Violação da lei do controle de narcóticos e produtos psicotrópicos
身の代金目的拐取罪	Rapto mediante extorsão
身の代金目的拐取幫助罪	Assistência ao rapto com extorsão
身の代金目的拐取予備罪	Preparação ao rapto com extorsão
身の代金目的被拐取者収受罪	Aceitação da pessoa raptada para obtenção de resgate
無印公文書偽造罪	Falsificação do documento oficial sem carimbo registrado
無印私文書偽造罪	Falsificação do documento particular sem carimbo registrado
名誉毀損罪	Difamação
[や行]	[や行]
有印公文書偽造罪	Falsidade ideológica de documento oficial com carimbo registrado
有印私文書偽造罪	Falsidade ideológica de documento particular com carimbo registrado
有価証券偽造罪	Falsificação de certificados de valor

## 少年保護事件の手続の流れ



\* 複雑困難な重大事件などでは、①3人の裁判官が審判したり、②検察官が立ち会うことがあります。